

VIII 文化財保護

1 有形文化財

(1) 建造物

①旧与那国家住宅附とーら 建造物保存修理事業（竹富町）

事業目的：重要文化財 旧与那国家住宅附とーら・浴室及びボイラー室の修理工事

	令和2年度実績額（千円）	令和3年度実績額（千円）
町負担額	1,803	2,964
県補助額	440	988
国庫補助額	8,971	15,808
所有者	—	—
合計	11,214	19,760

②建造物琉球漆喰・琉球赤瓦製作施工文化財保存技術（伝承）団体事業

事業目的：建造物塗装や赤瓦製造、瓦葺き技術の伝承者養成事業及び研修事業

	令和2年度実績額（千円）	令和3年度実績額（千円）
実施団体負担額	100	89
県補助額	—	—
国庫補助額	3,866	7,587
合計	3,966	7,676

③中村家住宅 重要文化財等防災施設整備事業（北中城村）

事業目的：重要文化財の防災設備設置及び整備事業

	令和2年度実績額（千円）	令和3年度実績額（千円）
村補助額	—	1,342
所有者負担額	—	1,342
県補助額	—	893
国庫補助額	—	14,306
合計	—	17,883

④高良家住宅 重要文化財等防災施設整備事業（座間味村）

事業目的：重要文化財の防災設備設置及び整備事業

	令和2年度実績額（千円）	令和3年度実績額（千円）
村補助額	—	1,824
所有者負担額	—	—
県補助額	—	607
国庫補助額	—	9,726
合計	—	12,157

⑤重伝建 竹富町竹富島 伝統的建造物群基盤強化事業（竹富町）

事業目的：竹富島重要伝統的建造物群保存地区内の建造物保存修理

	令和2年度実績額（千円）	令和3年度実績額（千円）
所有者負担額	—	—
町補助額	2,547	3,597
県補助額	2,450	1,199
国庫補助額	19,986	19,185
合計	24,983	23,981

(2)美術工芸

①琉球国王尚家関係資料修復

事業総額：22,150千円（国 17,711千円、県 850千円、市 3,589千円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：那覇市

修復期間：令和3年4月22日～令和4年3月25日

修復目的：琉球国王尚家関係資料とは、1995年～1996年に那覇市に寄贈された文書類1,341件、美術工芸品85件をいう。その中から、尚家の個人資料や現代資料を除いた1,166件の尚家文書、並びに85件の美術工芸品が2006年に国宝として指定された。これらの資料は沖縄戦で多くの文化遺産を失った沖縄にとって、近世琉球期の政治・経済・文化、あらゆる面の解明に役立つ、重要な資料群である。

早急に修理・補修を行い、広く展示・公開しなければならないが、文書点数が多いため、損傷状態の診断を行い、より劣悪な状態のものから優先的に修復する方針で、15年計画で実施する。

事業概要：前年に引き続き、修理作業に着手しているが、平成30年に東京尚家から新たな文書256点が寄贈され、そのうち41点が令和元年に新たに国宝に追加された。追加指定文書も虫損等状態が悪いので、事業計画の延長を行い、公開・活用に支障をきたす史料を優先して、繕い等の作業を中心に修理を行っている。令和3年度は、12点の修理を行った。

実施体制：文化庁の保存修復方針、国宝修理装演師連盟に委託し、九州国立博物館内の修復工房で修復し、修復後は九州国立博物館で一般公開を行った。

②琉球芸術調査写真<鎌倉芳太郎撮影/>美術工芸品保存修理事業

事業総額：6,087千円（国 4,870千円、県 1,217千円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：公立大学法人沖縄県立芸術大学

修復期間：令和3年4月22日～令和4年3月25日

修復目的：重要文化財「琉球芸術調査写真<鎌倉芳太郎撮影/>」のうち「一つ書一、ガラス原板」の資料は、沖縄の戦前の遺跡、建築、彫刻、絵画、工芸品などを撮影した1,268点の写真原版のことである。

今回、修理を行うガラス原板の被写体は、琉球王家ゆかりの文化財、首里、那覇の名家所蔵の絵画や工芸品、首里城や寺院といった建築物など、そのほとんどが戦争で消失したため、現在では本資料でのみ見ることができるものもあり、沖縄の文化、民俗、建築、歴史、祭祀等を知る貴重な資料である。

当該ガラス原板は撮影されてから100年近くが経ち、汚損や割れ、有害ガスやカビ等による劣化が進行していることから、公開・保存の観点からも緊急な修理を行う。

事業概要：本事業では、損傷の著しい資料を中心に修理やカビ等のクリーニング等を行う。

実施体制：修理手法策定および保存方法検討等においては専門家による修理検討委員会を設置し、会の指針に従い作業を行う。記録調査、汚れ除去、テープ除去、保存用具作製等の保存修理を実施する。

作業には、国の選定保存技術保存団体（装演修理技術）の認定技術者が従事する。

③八重山蔵元絵師画稿類（宮良安宣旧蔵）保存修理

事業総額：3,489千円（国 2,791千円、市 698千円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：石垣市

修復期間：令和3年5月12日～令和4年2月25日

修復目的：本資料は19世紀の琉球国八重山蔵元の絵師が描いた画稿類の一括資料であり、当時の八重山の文化が幅広く描かれた稀有な資料群である。過去に裏打ち修理が施されているが、劣化が見られるため適切な保存修理を行い、将来的な保存及び公開活用を図ることを目的とする。

事業概要：本資料には、全体的に経年による染み、汚れ、カビ、虫損による欠失部分も見受けられる。修理作業では本紙の台紙貼り裏打ち紙を除去し、欠失部分を繕いマウンティング装を施して長期保存を図る。

実施体制：文化庁の保存修理方針及び文化財調査官（歴史資料部門）の監督・指導の下、修理業者石川堂に修理業務を委託し、修復及び調査・記録・報告書の作成を行った。

④黒漆牡丹七宝繫沈金食籠修理

事業総額：3,004千円（県 901千円、財団 2,103千円）

事業種別：県単独補助事業

事業主体：一般財団法人沖縄美ら島財団

修復期間：令和3年5月6日～令和4年3月31日

修復目的：黒漆牡丹七宝繫沈金食籠とは、久米島に伝来する最古の琉球漆器とデザインや技術が類似しており、製作年代が16～17世紀の作品として推定できることから琉球漆器の初期の沈金技術の技法を知る重要な作品であり、平成18年に県指定有形文化財に指定された。令和元年の首里城火災により被災し、表面を覆っている漆が急速に劣化し、表面に無数のひび割れが起こっており、早急に修理する必要がある。修理後には公開を予定しており、文化財愛護について普及効果が期待され、琉球漆器の技術の移り変わりを証明する貴重な漆器を後世に伝えることが出来る。

事業概要：被害状況の大きさから令和3年度～令和5年度までの3年計画で実施する。火災の熱の影響により、当該漆器は漆塗膜がかなり浮き上がり、今にも剥落しそうな状態であるため、令和3年度は危険な箇所に剥落防止の仮止めを行い、ホコリを払うクリーニング作業を行った。

実施体制：火災によって損傷を受けた文化財の修理事例が極めて少ないため、首里城での被害調査から協力し、琉球漆器の修復・修繕に多くの実績を有している（株）目白漆芸文化財研究所での修理を実施する。

(3)銃砲刀剣類の登録

①沖縄県銃砲刀剣類登録審査委員

*沖縄県教育委員会委嘱(令和2年11月9日から令和4年11月9日)

大嶺 信義(刀剣研究家)、上原 正人(刀剣研究家)、兼濱 昇(刀工)

②登録審査会

【登録審査会(新規登録及び現物確認審査)】

日時:第1回 令和4年3月3日(木) 10:00~16:45

第2回 令和4年3月30日(木) 10:00~16:45

場所:沖縄県三重城合同庁舎(沖縄県男女共同参画センター) 5階研修室

審査件数:第1回 9件(内訳:刀3、脇差し4、古式銃砲2)

第2回 18件(内訳:刀8、脇差し6、やり4)

登録証交付件数:第1回(新規登録:4件、再交付:2件)

※第2回で審査した銃砲刀剣類の登録証交付手続き等は、
令和4年度業務として行う。

③新規登録申請件数及び登録件数

区分	種別	申請件数	登録件数	備考
刀 剣	た ち	0	0	
	刀	3	1	
	わ き ざ し	4	2	
	短 刀	0	0	
	や り	0	0	
	な ぎ な た	0	0	
古式銃砲	火 縄 銃	1	1	
	その他の古式	1	0	
合 計		9	4	

④証紙出納実績

	審査件数	登録審査手数料	出納実績	備考
審査手数料(新規登録)	7	6,300円/件	44,100円	
審査手数料(再交付)	0	3,500円/件	0円	
制作承認手数料	0	800円/件	0円	
合 計			44,100円	

⑤登録を受けた銃砲刀剣類の譲り受け・貸付け・登録証再交付などの届出件数

種 別	銃砲類	刀剣類	計
譲り受け	1	0	1
相 続	0	0	0
貸 付 け	0	0	0
保管の委託	0	0	0
登録証再交付	2	0	2
合 計	3	0	3

2. 無形文化財

(1) 芸 能 (伝承者養成事業)

① 重要無形文化財「琉球舞踊」伝承者養成事業

事業総額：10,205千円（国9,903千円、県108千円、保存会194千円）

実施内容：国補助による琉球舞踊保存会直営事業（会長：宮城能鳳）

事業内容：伝承者養成研修を実施し、研修成果の発表会を行った。

事業期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

研 修 会：期日、内容等は下記のとおり。

研修趣旨：琉球舞踊の古典舞踊と雑踊について、それぞれの師匠の技を再現し、確認することで、琉球舞踊に伝えられる技について演目ごとに理解を深める。

保持者を中心に現在の実演家たちが師事した師匠の技を再現し、流派を越えて学習することを旨とする。

内 容：古典女踊「伊野波節」と雑踊「加那ヨ一」について、各系統ごとに先達のわざを再現し、技術研修の成果を発表する。発表会を2日間開催した。

琉球舞踊の古典七踊の研修

ア 系統の整理（琉球王国時代の御冠船踊りの芸統をひく7人の先達を基に整理）

現在の琉球舞踊保持者を中心に整理すると下記のとおり。 ※ 下線部は物故者

玉城盛重 { ①玉城盛義：玉城節子、玉城秀子、谷田嘉子、金城美枝子、又吉静枝
②島袋光裕：島袋光晴、佐藤太圭子
③親泊興照：二代目親泊興照
④宮城能造：宮城能鳳
⑤真境名佳子：宮城幸子、喜納幸子
⑥真境名由康：真境名直子（2013年逝去のため、真境名結子と協議）

嵩原安詩 { ⑦比嘉清子：大城政子
⑧田島清郷：志田房子

伝承者を中心に整理すると下記のとおり。

新垣松含 ⑨比嘉澄子 比嘉早苗
渡嘉敷守良 ⑩児玉清子 二代目児玉清子・由利子 金城光子 二代目渡嘉敷守良
読谷山親雲上 ⑪金武良章 安座間澄子 安座間明美
川平親雲上 ⑫阿波連本啓 阿波連蘭子
屋我良勝 ⑬山田貞子 山内小夜 山内喜美枝
※宮城能造：二代目宮城能造
田代タカ子：宮城美能留：宮城早苗・園美
玉城盛義：宇根伸三郎

イ 研修方法

古典七踊りについては、現在の琉球舞踊保持者の技の源流である玉城盛重と嵩原安詩について、8（上記の①～⑧）グループに分ける。琉球舞踊保持者に担い手がいない読谷山親雲上、新垣松含、屋我良勝、川平親雲上、渡嘉敷守良の5人の師匠の技について5（⑨～⑬）に分けて研修を実施する。

実技研修に重きをおき、各分野より選ばれた選抜研修生（約79名）と、一般研修生（約206名）にわけける。

選抜研修生には選抜研修（※緊急事態宣言のため中止）10月の実技研修、および11月の成果発表会への出演を課す。選抜研修は稽古着だが、成果発表会は衣装着用・拵えあり。

その他の一般研修は、11月の技能発表会にて保持者の前で課題演目の演舞を行う（稽古着・拵えなし）。

ウ 課題演目

令和3年度は、古典舞踊「伊野波節」・雑踊「加那ヨ一」

エ 研修回数

令和3年度は以下の2回の研修を行う。

a 技能発表会（11月6日・28日） ※全伝承者対象（選抜者をのぞく）

- b 成果発表会（11月20日・21日） ※出演は選抜者
 ※衣装、化粧、道具等についても師からの教えを再現する。

オ 研修報告

- a 技能発表会（令和3年11月6・28日 会場：てだこホール（浦添市）
 令和3年度の選抜者以外（206人）を対象とした研修。全体を17グループにわけ、グループごとによる演舞を行う。各自にて稽古ののち、この技能発表会にて全保持者の前で演舞を披露し、指導を受ける。衣裳は舞踊・地謡ともに稽古着で、拵えは行わない。
 ※本来の予定は9月25・26日だったが、緊急事態宣言のため11月に延期して実施した。
- b 成果発表会（令和3年11月20・21日 会場：国立劇場おきなわ大劇場（浦添市）
 本年度の選抜者（発表時69名）による成果発表会。本来は選抜研修を実施してから成果発表会の実施となるが、今年度は緊急事態宣言のため、選抜研修が2度の延期を経て中止。選抜研修生はこれが本年度唯一の舞台となった。開催時は緊急事態宣言は解除されていたが、新型コロナ感染拡大防止のため、昨年同様に無観客開催（非公開）とした。有識者による講座も中止になった。保持者の出席も、入れ替えと時間制限を行った。
 ※両研修とも、関係者全員に新型コロナワクチン接種証明書の提出、ワクチン未接種者は72時間以内のPCR検査陰性証明の提出を依頼した。

一出演者名簿 課題 「伊野波節」「加那ヨー」

○印が地謡リーダー ※太鼓は「加那ヨー」のみ出演

- ①舞踊：（玉城流扇寿会）崎浜紀美子・浦崎みゆき
 地謡：（歌三線）（安富祖流絃聲会）○照喜名朝國・金城力・照喜名智・眞榮城玄俊
 （箏）前西原暎子 （笛）我那覇常允 （胡弓）嶺井敦弘 （太鼓）宮雄二
- ②舞踊：（玉城流玉扇会）佐久川順子・比嘉光子（玉城流七扇会）上地美智子
 地謡：（歌三線）（安富祖流絃聲会）○照喜名朝國・金城力・照喜名智・眞榮城玄俊
 （箏）前西原暎子 （笛）我那覇常允 （胡弓）嶺井敦弘 （太鼓）宮雄二
- ③舞踊：（親泊本流親扇会）親泊久玄
 地謡：（歌三線）○幸喜信明 宮里政栄 高良幸則 平田邦夫
 （箏）前西原暎子 （笛）我那覇常允 （胡弓）嶺井敦弘 （太鼓）宮雄二
- ④舞踊：（宮城本流鳳乃會）比嘉侑子
 地謡：（歌三線）（野村流伝統音楽協会）○城間盛秋 新垣和則 仲村渠達也 仲尾勝成
 （箏）新川陽子 （笛）宇保朝輝 （胡弓）川平賀道 （太鼓）神山常夫
- ⑤舞踊：（渡嘉敷琉）宮城能鳳（監修）花岡尚子
 地謡：（歌三線）（野村流伝統音楽協会）○城間盛秋 新垣和則 仲村渠達也 仲尾勝成
 （箏）新川陽子 （笛）宇保朝輝 （胡弓）川平賀道 （太鼓）神山常夫
- ⑥舞踊：（朱日琉）多和田美幸 宮城尚子
 地謡：（歌三線）（野村流伝統音楽協会）○宮城厚博 眞榮喜清次 眞榮田徹也
 （箏）神谷淳子 （笛）宇保朝輝 （胡弓）川平賀道 （太鼓）神山常夫
- ⑦舞踊：（大城流寿乃会）城間千恵美
 地謡：（歌三線）（野村流伝統音楽協会）○宮原弘和 稲嶺盛律 池原朝雄 渡久山春憲
 （箏）喜屋武初江（笛）仲田治巳 （胡弓）比嘉清 （太鼓）金城盛松
- ⑧舞踊：（島袋本流紫の会）具志なおみ
 地謡：（歌三線）（野村流伝統音楽協会）○宮原弘和 稲嶺盛律 池原朝雄 渡久山春憲
 （箏）喜屋武初江（笛）仲田治巳 （胡弓）比嘉清 （太鼓）金城盛松
- ⑨舞踊：（真躍流）宮城裕子 喜納かおり 宮城りつ子
 地謡：（歌三線）（野村流保存会）○比嘉啓和 花城康喜 長浜真輝
 （箏）國吉裕子（笛）仲田治巳（胡弓）比嘉清 （太鼓）金城盛松
- ⑩舞踊：（宗家眞境名本流眞薫会）仲程めぐみ（眞境名本流）眞境名英美
 地謡：（歌三線）（野村流保存会）○比嘉啓和 花城康喜 長浜真輝
 （箏）國吉裕子（笛）仲田治巳（胡弓）比嘉清 （太鼓）金城盛松

② 選定保存技術「組踊道具・衣裳製作修理」伝承者養成事業

事業総額：7,200千円（国7,000千円、県100千円、保存会100千円）

実施方法：国・県補助による組踊道具・衣裳製作修理保存会直営事業

事業主体：組踊道具・衣裳製作修理技術保存会

事業期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

場 所：各技術者の工房

事業内容：道具・衣裳製作修理は、沖縄の伝統芸能である「組踊」で使用される各種の道具と、各

役柄に応じた伝統的な衣裳を製作し、修理する技術であり、国の重要無形文化財「組踊」の保存に欠くことはできない。

- 1 道具：組踊道具の製作をした。技術者4名で、伝承者8名を指導した。
合計400回の研修を行った。
 - (1) 講師：金城裕幸 平田智之 上原じゅん子 新垣孝
 - (2) 伝承者：佐渡山也子 金城小百合 宮城優子 城間貞光
平田恵乃 江洲のぶ子 比嘉建秀 當眞嗣幸
- 2 衣装：組踊衣装の製作をした。技術者2名で、伝承者1名を指導した。
合計40回の研修を行った。
 - (1) 講師：嘉手納タケ子 満名苗子
 - (2) 伝承者：知花美枝子
- 3 技能・技術の錬磨：作品・素材・技術（舞台公演を含む）を見学し、それぞれの知識を高め、作品・技術に反映させた。

③ 重要無形文化財「組踊」伝承者養成事業

事業総額：12,015千円（国11,749千円、県132千円、保存会134千円）

実施方法：国補助による一般社団法人伝統組踊保存会直営事業

事業内容：伝承者養成研修を実施し、研修成果の発表会を行った。

事業期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

研修会：期日、内容等は下記のとおり。

研修の目的：伝承者に実技研修と教養講座（座学）を実施し技芸のさらなる向上を図る。

保持者は、伝承者の技量向上に資するように指導に努める。

- 基本方針：1 実技指導は、当会会員である保持者が行う。座学講座については、外部講師の招聘も考慮する。
- 2 立方、地謡に色々な役柄を与え、将来の指導者としての資質・能力を養うように指導する。
 - 3 補助事業における伝承者は、20～30代の若手と中堅層をもって編成する。
今年度は、伝承者55名（立方22名、地謡33名）を対象に実施する。
 - 4 指導計画を策定し、日々の研修・稽古を重視して技能向上を最重点に置く。
 - 5 座学講座、実技研修の成果の確認は成果発表会を実施して行う。

研修内容：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染症対策を講じた内容に計画変更した。

- 1 実技研修
 - (1) 実技研修演目は、朝薫の五番（「護佐丸敵討」「執心鐘入」「女物狂」「銘苺子」「孝行の巻」）と「手水の縁」「萬歳敵討」「花売の縁」「雪払い（真境名本）」「賢母三遷之巻」。
 - (2) 前期、後期各15回の研修内容について、保持者による実技指導DVD（3枚）を作成。伝承者へ配布し、視聴レポートを提出させた。
（前期「執心鐘入」、後期「雪払い（真境名本）」各DVD3枚）
講習DVD1：（野村流）演目全般の講話、立方のセリフや所作の心得、地謡の演奏上の心得
講習DVD2：（安富祖流）演目全般の講話、立方のセリフや所作の心得、地謡の演奏上の心得
講習DVD3：立方の音楽との掛合い心得、器楽の演奏上の心得
- 2 座学：講師による座学講座のDVDを全5回（5枚）作成し、伝承者へ配布・視聴レポートを提出。
- 3 成果発表会：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

④ 記録作成等の措置を講ずべき無形文化財「琉球古典箏曲」記録保存調査事業

事業総額：3,922千円（国3,829千円、県46千円、保存会47千円）

実施方法：国・県補助による琉球古典箏曲記録保存調査会直営事業

事業主体：琉球古典箏曲記録保存調査会

事業期間：令和3年4月1日～令和4年3月30日

調査員：金城厚（沖縄県立芸術大学教授）、比嘉悦子（文化審議会専門委員）
大城學（岐阜女子大学教授）、野川美穂子（東京藝術大学非常勤講師）
井口はる菜（関西外国語大学講師）、
遠藤美奈（沖縄県立芸術大学准教授 補助員兼務）……6名

調査補助員：又吉恭平（団体職員）、町田倫人（演奏家）、林杏佳（沖縄県立芸術大学院生）

遠藤美奈（沖縄県立芸術大学准教授 調査員兼務）…… 4名

全体計画：平成30年度：事前調査・研究

令和元年度：本格調査・研究・記録保存録音録画

令和2年度：本格調査・研究・記録保存録音録画

令和3年度：調査まとめ、報告書作成

事業概要：(1) 琉球古典箏曲の歴史について、史料研究によりこれを解明し、琉球古典箏曲の成立と展開、および日本音楽史における琉球古典箏曲の位置、近世邦楽全般との関係について解明する。

(2) 琉球古典箏曲の現状について、演奏の録音によりこれを記録し、技芸の保存をはかる。

(3) 琉球古典箏曲の諸技法について、現在の伝承者への聞き取り調査と録音によりこれを記録し、技芸の保存をはかる。

事業内容：調査会を3回実施した。ただし、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、うち2回はリモート会議方式で実施した。技芸の保存を図るため、実演家による録音・録画は保持者3名について5回実施した。諸技法や伝承状況について伝承者に報告書への執筆を依頼した。調査報告書を編集し、関係機関に配布した。

調査会会議：(第1回) 日 時：6月26日(土) 10時～12時、

場 所：Zoomを用いたリモート会議方式

参加者：調査員 金城、比嘉、大城、野川、井口、遠藤

内 容：(報告)野川美穂子：《七段の調》と《七段管攪》の比較

(第2回) 日 時：9月26日(日) 10時～12時

場 所：Zoomを用いたリモート会議方式

参加者：調査員 金城、比嘉、大城、野川、井口、遠藤

内 容：(報告1)野川美穂子：《七段の調》と《七段管攪》の比較その2
(報告2)

(第3回) 日 時：1月23日(日) 10時～12時

場 所：国立劇場おきなわ交流プラザ

参加者：調査員 金城、比嘉、大城、野川、井口、遠藤

内 容：報告書の編集計画

(第1回演奏記録録音) 日 時：8月10日(火) 13時～17時

場 所：国立劇場おきなわ小劇場

演奏者：上地尚子

調査者：金城、比嘉、野川、井口、大城、遠藤

録音者：国際貿易(株)

(第2回演奏記録録音) 日 時：8月11日(水) 13時～17時

場 所：国立劇場おきなわ小劇場

演奏者：名嘉よし子

調査者：金城、比嘉、野川、井口、大城、遠藤

録音者：国際貿易(株)

(第3回演奏記録録音) 日 時：1月22日(土) 13時～17時

場 所：浦添市てだこホール練習室

演奏者：宮里秀明

調査者：金城、比嘉、野川、井口、大城、遠藤

録音者：国際貿易(株)

(第4回演奏記録録音) 日 時：1月23日(日) 13時～17時

場 所：浦添市てだこホール練習室

演奏者：上地尚子

調査者：金城、比嘉、野川、井口、大城、遠藤

録音者：国際貿易(株)

(第5回演奏記録録音) 日 時：2月7日(月) 13時～17時

場 所：浦添市てだこホール練習室

演奏者：名嘉よし子、宮里秀明

調査者：金城、遠藤

録音者：国際貿易(株)

⑤ 県指定無形文化財「琉球歌劇」伝承者養成事業

事業総額：1,123千円（県648千円、保存会475千円）

実施方法：県補助による琉球歌劇保存会直営事業（会長：吉田妙子）

事業内容：感染症予防対策を講じながら、保持者が座学形式により伝承者への講話を実施。

事業期間：令和4年1月6日（木）～令和4年3月28日（月）

(1) 研修会：令和4年3月2日（水）～令和4年3月11日（金）13:00～17:00

場所：なは市民協働プラザ1F女性センター保持者による講話研修

講話者（保持者）：平良進、瀬名波孝子、嘉数好子、真栄田文子、上江洲由孝、仲宗根盛次、中曾根律子、宮里良子、堀文子、吉田妙子

参加者（伝承者）：知花小百合、玉城敦子、新垣勝夫、上原崇弘、根神千代美、新垣正広、與那國恵、宇座仁一、大城真利乃、高里風花、城間結、福島千枝、山川宗春、與那國太介、桶川美晴、仲本亜寿香、金城清徳、山里進、和田信一、中野夢

⑥ 県指定無形文化財「沖縄伝統音楽野村流」伝承者養成事業

事業総額：304千円（県100千円、保存会204千円）

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽野村流保存会直営事業（会長：勝連繁雄）

事業内容：野村流の正しい継承と発展及び芸能文化の向上を図ることを目的とし、会員（保持者、伝承者）を対象に大昔節や昔節の歌三線を中心に研修会を実施した。

事業期間：令和3年12月10日～令和4年3月22日

(1) 研修会

回	開催日時	開催場所	人数	研修内容
1	R4 3/12(土) 13:30～15:00	西原町 社会福祉 センター	49人	①柳節・ちるれん節 ②なからた節 ・瓦節・シャウンガナイ節 ③作田節・早作田節 ④本花風節・ 赤田風節
2	15:30～17:00		30人	
3	R4 3/13(日) 13:30～15:00		31人	
4	15:30～17:00		37人	

※新型コロナウイルス感染症予防対策のため三密を避け、伝承者を4つのグループに分けて実施。

(2) 指導者：佐久田朝雄、比嘉康夫、銘苅盛隆、宮城竹茂、砂辺孝真、仲宗根盛次、金城幸浩、山城暁

⑦ 県指定無形文化財「沖縄伝統音楽安富祖流」伝承者養成事業

事業総額：217千円（県72千円、保存会145千円）

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽安富祖流保存会直営事業（会長：西江喜春）

事業内容：年間事業計画により伝承者養成事業を毎月1回開催し、保持者が指導を行っているが、研修会は、新型コロナウイルス感染症警報発令等のため、11回開催予定が6回を中止した。また、文化的知識を深め資質の向上を図る目的に講師を招聘し、特別講演会を実施した。

事業期間：令和3年5月23日～令和4年3月31日

(1) 研究会・研修会

- ① 保持者研究会 毎月1回 第4日曜日 午前10時～正午
テーマ 伝統音楽安富祖流の研究
- ② 伝承者研修会 毎月1回 第4日曜日 午前10時～正午
テーマ 伝統音楽安富祖流の研究

(2) 特別講演会（保持者・伝承者研修）

- ① 日 時：令和3年10月24日（日） 午前11時～正午
- ② 講 師：諸見友重氏（沖縄県教育庁文化財課 課長）
- ③ 講話内容：「湛水親方の生涯とその時代の芸能の情報」
- ④ 場 所：真玉橋公民館1F

(3) 指導者：西江喜春、玉城正治、濱元盛爾、照喜名進

回	開催日	内容・開催場所	備考
1	5/23(日)	5月定例研修会:芸能コンクール課題曲 真玉橋公民館1F	中止
2	6/27(日)	6月定例研修会:芸能コンクール課題曲 真玉橋公民館1F	中止

3	7/25(日)	7月定例研修会:芸能コンクール課題曲 真玉橋公民館1F 新人賞:伊野波節 稲まづん節 優秀賞:ぢゃんな節(干瀬節) 作田節(子持節) 最高賞:今風節(仲風節) 十七八節(述懐節)	中止
4	8/22(日)	8月定例研修会:芸能コンクール課題曲 真玉橋公民館 1F	中止
5	9/26(日)	9月定例研修会:研修曲:御前風 真玉橋公民館1F 昔節 大昔節より: 諸鈍節 今風節 本調子述懐節 上中巻より: 昔嘉手久節 伊集の木節	中止
6	10/24(日)	10月定例研修会:真玉橋公民館1F 研修曲:御前風 特別講演会:真玉橋公民館1F 講師: 諸見友重 氏 (沖縄県教育庁文化財課 課長) 講話内容: 「湛水親方の生涯とその時代の芸能の情報」	
7	11/28(日)	11月定例研修会:御前風(5節) 真玉橋公民館1F 昔節 大昔節より: 諸鈍節 茶屋節	
8	12/26(日)	12月定例研修会:御前風(5節) 真玉橋公民館1F 昔節 大昔節より: 諸鈍節 茶屋節	
9	R4 1/23(日)	1月定例研修会:真玉橋公民館 1F 令和3年度 師範・教師課題曲 師範: 十七八節(本花風節) 教師:ぢゃんな節(子持節)	中止
10	2/27(日)	2月定例研修会:真玉橋公民館 1F 令和3年度 師範・教師課題曲 師範: 十七八節(本花風節) 教師:ぢゃんな節(子持節)	
11	3/27(日)	3月定例研修会:真玉橋公民館 1F 御前風(5節) 令和3年度 研修演目おさらい 昔節:5節 大昔節:4節	

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で6回中止。

⑧県指定無形文化財「沖縄伝統音楽箏曲」伝承者養成事業

事業総額: 301千円 (県 100千円、保存会 201千円)

実施方法: 県補助による沖縄伝統音楽箏曲保存会直営事業 (会長: 宮城光子)

事業内容: 保持者の指導により研修会を実施した。

事業期間: 令和3年5月31日～令和4年3月31日 完了

(1) 研修会: 第1回 令和3年7月17日(土) 58名参加

第2回 令和3年10月16日(土) 67名参加

第3回 令和3年12月12日(土) 55名参加

※新型コロナウイルス感染症予防対策のため3グループに分けて実施。

場 所: 国立劇場おきなわ 大稽古室

指 導 者: 宮城光子、崎山文子、赤嶺和子、比嘉淳江、玉城弥生、赤嶺弘子

(2) 公演会: なし

⑨県指定無形文化財「沖縄伝統音楽湛水流」伝承者養成事業

事業総額: 47千円 (県 23千円、保存会 24千円)

実施方法: 県補助による沖縄伝統音楽湛水流保存会直営事業 (会長: 渡久山春憲)

事業内容: 保持者の指導により研修会を実施した。

事業期間: 令和3年12月14日～令和4年3月31日 完了

(1) 湛水流伝統保存会系

日時: 令和4年2月23日(水) 10:00～11:30 場所: 国立劇場おきなわ中稽古室

内容: 琉球古典音楽「作田節」「諸鈍節」「暁節」の実技指導

講師(保持者): 上里平三、渡久山春憲、宮城康明

受講生(伝承者): 12名

(2) 琉球古典音楽湛水流保存会系

日時: 令和4年3月12日(土) 10:00～11:30 場所: 沖縄市農民研修センター大研修室

内容: 琉球古典音楽「作田節」「ヂャんな節」「首里節」「諸鈍節」「暁節」

「早作田節(揚・下)」「揚作田節(揚・下)」の実技指導

講師(保持者): 島袋英治、渡慶次哲三、濱里長希、高江洲昌和、山内昌也

受講生(伝承者): 10名

(2) 芸 能 (組踊等普及啓発事業)

①児童生徒の組踊等沖縄伝統芸能鑑賞会・・・県単独事業

事業総額：2,151千円（執行済額2,151千円）

趣 旨：児童生徒に郷土芸能への理解と関心を深めさせ、組踊等沖縄伝統芸能の県内への普及啓発を図るとともに、若手実演家の活動機会を増やすことによって、後継者の育成を図る。

実施方法：沖縄県教育委員会が、一般社団法人伝統組踊保存会に事業委託

事業内容：上演（組踊（執心鐘入））とワークショップ（沖縄芝居）の実施

解 説：演目解説書を児童生徒全員に配布し、演目概要等の紹介

事前ワークショップ（WS）：希望する学校にて実施

実演団体：一般社団法人 伝統組踊保存会

鑑賞校、開催日時、出演者は次のとおり

ア 組踊鑑賞会実施校（鑑賞人数）：宜野湾市立普天間小学校（4年生114人）

日 時：令和3年11月4日（木） 10時20分開演

会 場：普天間小学校 体育館

解 説：山城 暁、金城清一 上間克美

第1部：琉球舞踊

「老人老女」佐辺良和 「かせかけ」田口博章

「上り口説」比嘉大志 「鳩間節」伊藝武士

第2部：組踊「執心鐘入」

立方指導：金城清一（保持者）

地謡指導：上間克美（保持者）

解 説：山城 暁

配 役：若松（佐辺良和）、宿の女（田口博章）、座主（金城清一）、小僧1（比嘉大志）、小僧2（島袋浩大）、小僧3（伊藝武士）、後見（伊佐幸子）

地 謡：歌・三線（島袋功・吉元博昌）、箏（手登根廣美）、
笛（真地利尚）、胡弓（比嘉清）、太鼓（金城睦昭）

イ 沖縄芝居ワークショップ実施校（鑑賞人数）

①豊見城市立座安小学校（5・6年生139名）

日 時：令和3年12月22日（火） 10時40分開始

会 場：座安小学校体育館

解 説：伊良波さゆき

第1部：沖縄芝居解説（講師：伊良波さゆき）・楽器紹介（講師：仲村逸夫）

第2部：沖縄芝居「戻り籠」

・上演

立方：糸満盛幸、比嘉大志、喜納彩華 歌三線：新垣勝裕 箏：米須弥生
笛/胡弓：大城建大郎 太鼓：金城麻美 舞台係：安次嶺浩和、神谷加奈子
音響：瀬良垣幸男

・体験①（「戻り籠」の足の所作やカチャーシー）

・体験②（選抜チームにより「戻り籠」の披露・全員でカチャーシー）

②沖縄県立南部商業高等学校（3年生109人）

日 時：令和3年12月23日（水） 10時45分開始

会 場：南部商業高等学校体育館

解 説：伊良波さゆき

第1部：沖縄芝居解説（講師：伊良波さゆき）・楽器紹介（講師：仲村逸夫）

第2部：沖縄芝居「戻り籠」

・上演

立方：糸満盛幸、比嘉大志、川満香多 歌三線：新垣勝裕 箏：米須弥生
笛/胡弓：大城建大郎 太鼓：金城麻美 舞台係：安次嶺浩和、神谷加奈子
音響：瀬良垣幸男

・体験①（「戻り籠」の足の所作やカチャーシー）

・体験②（選抜チームにより「戻り籠」の披露・全員でカチャーシー）

②組踊等教育普及事業・・・沖縄県特別推進交付金事業

趣 旨：日常生活において、組踊等沖縄の無形文化財(芸能)を鑑賞する機会の少ない児童・生徒に対し、これを公演し観賞させることによって、郷土の無形文化財(芸能)への理解と関心を深めさせ、これを保存継承する社会的基盤の形成を図る。

ア 児童生徒離島公演

事業総額：17,145千円(執行済額17,145千円 うち交付金充当額13,716千円)

実施方法：沖縄県教育委員会が、令和3年度「組踊等教育普及事業」共同事業体に事業委託

実演団体：令和3年度「組踊等教育普及事業」共同事業体

代表者：一般社団法人 オキナワステージプラン

構成員：沖縄伝統組踊「子の会」

事業内容：上演演目：組踊(執心鐘入)及び沖縄伝統芸能(琉球舞踊)

解 説：演目解説書を児童生徒全員に配布し、演目概要等の紹介

ワークショップ(WS)：日程調整ができた学校にて実施

鑑賞校、開催日時、出演者は次のとおり

(ア)鑑賞校(鑑賞人数) 沖縄県立八重山特別支援学校(62人)

【鑑賞会】 日 時：令和3年11月19日(金)10:00~11:30

場 所：同校体育館

配 役：若松(川満俊介) 宿の女(比嘉大志) 座主(上原崇弘)

小僧1(新垣悟) 小僧2(砂川博仁) 小僧3(島袋浩大)

後見・解説(高井賢太郎)

地 謡：歌・三線(大城貴幸・仲嶺良盛・兼箇段翔) 箏(平良大)

【W S】 日 時：令和3年11月14日(木)14:10~14:55

場 所：同校体育館 受講人数：30名

立方(上原崇弘、比嘉大志、高井賢太郎)、地謡(仲嶺良盛)

(イ)鑑賞校(鑑賞人数) 沖縄県立八重山商工高等学校(392人)

【鑑賞会】 日 時：令和3年11月24日(水)14:00~15:30

場 所：石垣市民会館

配 役：若松(宮崎花澄) 宿の女(高里風花) 座主(石川直也)

小僧1(新垣悟) 小僧2(砂川博仁) 小僧3(島袋浩大)

後見・解説(仲宗根朝子)

地 謡：歌・三線(大城貴幸・金城亮太・兼箇段翔)、箏(大城建太郎)

笛(比嘉千咲) 胡弓(森田夏子) 太鼓(横目大通)

【W S】 日 時：令和3年12月7日(火)10:30~11:30

場 所：沖縄県立八重山農林高等学校体育館 受講人数：12人

立方(上原崇弘、比嘉大志、比嘉克之)

地謡(兼箇段翔、徳田泰樹)

(ウ)鑑賞校(鑑賞人数) 沖縄県立八重山高等学校(679人)

【鑑賞会】 日 時：令和3年11月25日(木)10:00~11:30

場 所：石垣市民会館

配 役：若松(宮崎花澄) 宿の女(高里風花) 座主(石川直也)

小僧1(新垣悟) 小僧2(砂川博仁) 小僧3(島袋浩大)

後見・解説(仲宗根朝子)

地 謡：歌・三線(大城貴幸・金城亮太・兼箇段翔)、箏(大城建太郎)

笛(比嘉千咲) 胡弓(森田夏子) 太鼓(横目大通)

(エ)鑑賞校(鑑賞人数) 沖縄県立八重山農林高等学校(278人)

【鑑賞会】 日 時：令和3年11月25日(水)14:00~15:30

場 所：石垣市民会館

配 役：若松(宮崎花澄) 宿の女(高里風花) 座主(石川直也)

小僧1(新垣悟) 小僧2(砂川博仁) 小僧3(島袋浩大)

後見・解説(仲宗根朝子)

地 謡：歌・三線(大城貴幸・金城亮太・兼箇段翔)、箏(大城建太郎)

笛(比嘉千咲) 胡弓(森田夏子) 太鼓(横目大通)

【W S】 日 時：令和3年12月7日(火)10:30~11:30

場 所：同校体育館 受講人数：15人

立方(上原崇弘、比嘉大志、比嘉克之)

地謡(兼箇段翔、徳田泰樹)

(オ)鑑賞校(鑑賞人数)竹富町(上原小学校、白浜小学校 計101人)

【鑑賞会】 日 時：令和4年2月9日(水)9:45~11:15
場 所：中野わいわいホール
配 役：若松(川満俊祐) 宿の女(新垣悟) 座主(川満香多)
小僧1(下地心一郎) 小僧2(砂川博仁) 小僧3(島袋浩大)
後見・解説(比嘉大志)

地 謡：歌・三線(玉城和樹・兼箇段翔・新垣勝裕)、箏(比嘉千咲)
笛(仲嶺良盛) 胡弓(與那國太介) 太鼓(久志大樹)

【W S】 日 時：令和4年2月8日(火)①13:50~14:35 ②14:45~15:30

場 所：上原小学校体育館 受講人数：全学年92人
立方(比嘉大志、川満俊祐、下地心一郎) 地謡(仲嶺良盛)

(カ)鑑賞校(鑑賞人数)竹富町(西表小学校、船浮小学校(計23人))

【鑑賞会】 日 時：令和4年2月9日(水)13:30~15:00

場 所：中野わいわいホール
配 役：若松(川満俊祐) 宿の女(新垣悟) 座主(川満香多)
小僧1(下地心一郎) 小僧2(砂川博仁) 小僧3(島袋浩大)
後見・解説(比嘉大志)

地 謡：歌・三線(玉城和樹・兼箇段翔・新垣勝裕)、箏(比嘉千咲)
笛(仲嶺良盛) 胡弓(與那國太介) 太鼓(久志大樹)

イ「組踊等教育普及事業」組踊ワークショップ

事業総額：8,818千円(執行済額8,818千円 うち交付金充当額7,054千円)

目 的：(1)組踊をはじめとする沖縄伝統芸能を学校教育に取り入れることによって、児童生徒に郷土芸能への理解と関心を深めさせ、「心の教育」に寄与する。
(2)組踊等沖縄の無形文化財(芸能)を児童生徒に鑑賞させることによって、郷土の無形文化財(芸能)への理解と関心を深めさせ、これを保存継承する社会的基盤の形成を図る。

実施方法：沖縄県教育委員会が丸正印刷株式会社に事業委託。

実演団体：女流組踊研究会「めばな」、ステージサポート沖縄

事業内容：県内の小学校・中学校・特別支援学校を対象に、組踊の三要素である唱え・琉球古典音楽・琉球舞踊をワークショップにて体験する。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等で4回の公演が中止となるが15校(16回)で実施。

(ア)開催校(参加人数)宜野座村立松田小学校(小6:25人)

日 時：令和3年9月10日(金)14:00~15:30

場 所：宜野座文化センター

立 方：金城佳子、喜納彩華、高里風花、新里春加

地 謡：大城建大郎(太鼓・箏)、和田信一(歌三線・笛)、前田博美(胡弓)

(イ)開催校(参加人数)那覇市立神原小学校(小5:65人)

日 時：令和3年9月21日(火)13:30~15:10

場 所：学校体育館

立 方：喜納彩華、伊佐幸子、與那嶺奈津子、高里風花

地 謡：大城建大郎(太鼓・箏)、平良大(歌三線・笛)、前田博美(胡弓)

(ウ)開催校(参加人数)沖縄市立宮里学校(中2・3:314人)

日 時：令和3年10月1日(金)10:55~12:35 14:00~15:40

場 所：学校体育館

立 方：喜納彩華、金城佳子、伊佐幸子、與那嶺奈津子

地 謡：大城建大郎(太鼓・箏)、和田信一(歌三線・笛)、前田博美(胡弓)

(エ)開催校(参加人数)うるま市立川崎小学校(小4:70人)

日 時：令和3年10月8日(金)14:00~15:30

場 所：学校体育館

立 方：金城佳子、伊佐幸子、喜納彩華、玉城和世

地 謡：和田信一(歌三線・笛)、比嘉千咲(箏)、前田博美(胡弓・太鼓)

(オ)開催校(参加人数)豊見城市立長嶺小学校(小4:82人)

日 時：令和3年10月19日(火)13:10~14:50

場 所：学校体育館

立 方：廣山えりか、喜納彩華、宮崎花澄、金城佳子

地 謡：大城建大郎(太鼓・箏)、和田信一(歌三線・笛)、前田博美(胡弓)

- (カ) 開催校 (参加人数) 石垣市立野底小学校 (全学年 : 19 人)
日 時 : 令和 3 年 10 月 22 日 (金) 13:30~15:10
場 所 : 学校体育館
立 方 : 喜納彩華、伊佐幸子、與那嶺奈津子、高里風花
地 謡 : 大城建大郎 (歌三線・箏)、平良大 (歌三線・笛)、伊藝武士 (太鼓・胡弓)
- (キ) 開催校 (参加人数) 南風原町立北丘小学校 (小 5 : 145 人)
日 時 : 令和 3 年 11 月 11 日 (木) 9:20~11:05
場 所 : 学校体育館
立 方 : 廣山えりか、喜納彩華、宮崎花澄、金城佳子
地 謡 : 大城建大郎 (太鼓・箏)、和田信一 (歌三線・笛)、前田博美 (胡弓)
- (ク) 開催校 (参加人数) 石垣市立名蔵小中学校 (小 3~6 : 31 人)
日 時 : 令和 3 年 11 月 22 日 (月) 14:00~15:40
場 所 : 学校体育館
立 方 : 喜納彩華、廣山えりか、仲嶺夕理彩、玉城和世
地 謡 : 瀬良垣幸男 (箏・太鼓)、仲嶺良盛 (歌三線・笛)、前田博美 (胡弓)
- (ケ) 開催校 (参加人数) 西原町立西原中学校 (中 3 : 182 人)
日 時 : 令和 3 年 11 月 25 日 (木) 14:05~15:55
場 所 : 学校体育館
立 方 : 廣山えりか、喜納彩華、伊佐幸子、仲嶺夕理彩、
地 謡 : 瀬良垣幸男 (箏・笛・太鼓)、池原雅人 (歌三線)、前田博美 (胡弓)
- (コ) 開催校 (参加人数) 今帰仁村立兼次小学校 (小 4~6 年 : 70 人)
日 時 : 令和 3 年 12 月 7 日 (火) 13:45~15:25
場 所 : 学校体育館
立 方 : 金城佳子、伊佐幸子、玉城和世、高里風花
地 謡 : 大城貴幸 (歌三線・箏)、平良大 (歌三線・笛)、伊藝武士 (太鼓・胡弓)
- (サ) 開催校 (参加人数) 竹富町立小浜小中学校 (小 3~6 : 43 人)
日 時 : 令和 3 年 12 月 10 日 (金) 13:40~15:30
場 所 : 学校体育館
立 方 : 喜納彩華、伊佐幸子、高里風花、仲嶺夕理彩
地 謡 : 瀬良垣幸男 (笛・箏・太鼓)、徳田泰樹 (歌三線・笛)、前田博美 (胡弓)
- (シ) 開催校 (参加人数) 県立宮古特別支援学校 (全学年 : 42 人)
日 時 : 令和 3 年 12 月 15 日 (水) 9:30~11:10
場 所 : 学校体育館
立 方 : 金城佳子、伊佐幸子、仲嶺夕理彩、高里風花、
地 謡 : 大城貴幸 (歌三線・箏)、平良大 (胡弓・笛)、石田玲奈 (太鼓)
- (ス) 開催校 (参加人数) 県立鏡が丘特別支援学校 中学部 (全学年 : 22 人)
日 時 : 令和 3 年 12 月 16 日 (木) 10:00~11:30
場 所 : 学校体育館
立 方 : 金城佳子、廣山えりか、伊佐幸子、仲嶺夕理彩
地 謡 : 大城建大郎 (太鼓・箏)、和田信一 (歌三線・笛)、前田博美 (胡弓)
- (セ) 開催校 (参加人数) 浦添市立浦城小学校 (小 6 : 151 人)
日 時 : 令和 3 年 12 月 20 日 (月) 9:00~10:40
場 所 : 学校体育館
立 方 : 喜納彩華、與那嶺奈津子、玉城知世、仲嶺夕理彩
地 謡 : 大城建大郎 (太鼓・箏)、和田信一 (歌三線・笛)、前田博美 (胡弓)
- (ソ) 開催校 (参加人数) 伊江村立西小学校 (小 6 : 22 人)
日 時 : 令和 4 年 2 月 2 日 (水) 10:35~12:15
場 所 : 学校体育館
立 方 : 喜納彩華、伊佐幸子、高里風花、玉城知世
地 謡 : 與那國太介 (歌三線・笛)、名護みのり (箏)、伊藝武士 (太鼓・胡弓)

(3) 工芸技術

① 重要無形文化財の伝承者養成事業

ア) 重要無形文化財「喜如嘉の芭蕉布」伝承者養成事業

事業総額：7,588千円（国 7,000千円、県 294千円、村 293千円、保存会 1千円）

実施方法：国・県・大宜味村補助による保存会直営事業

事業主体：喜如嘉の芭蕉布保存会（会長：平良敏子）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

① 技能保持者5名と修了生3名が講師を務め、受講生9名を対象に個々人の熟練度に応じた技術指導を実施した。本年度行った技術は以下の通り。

1) 芯止め・葉打ち、2) 苧倒し・苧炊き・苧引き、3) 苧績み、4) 緋結び・染色、5) 撚り掛け、6) 整経、7) 製織、8) 洗濯、9) 畑清掃

講 師：宮城糸美、山城雪枝、宮城涼子、辺土名加代子、大城絹恵、金城悟、當眞廣子
平良美恵子

伝 承 者：平良清美、神谷美香、吉田木綿、座喜味ゆり香、金城直美、加藤泉、孔智賢
平良雅志、金城武治

事業期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

場 所：大宜味村立芭蕉布会館

② 良質の糸芭蕉を確保するため、芭蕉畑除草の委託を行った。

(2) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

イ) 重要無形文化財「宮古上布」伝承者養成事業

事業総額：8,535千円（国 8,000千円、県 267千円、市 251千円、保持団体 17千円）

実施方法：国・県・宮古島市補助による保持団体直営事業

事業主体：宮古上布保持団体（代表者：新里玲子）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

図案・手括り（講師1名、伝承者4名）、染色（講師1名、伝承者2名）、織り（講師1名、伝承者1名）の3部門において講習を実施した。

講 師：下地達雄（図案・手括り）、平良清子（染色）、島袋朝子（織り）

伝 承 者：松尾由樹、久貝偉久恵、與那嶺ひとみ、高良恵（図案・手括り）
與那嶺ひとみ、高良恵（染め）、平良享子（織り）

実施期間：令和3年4月1日～令和4年2月28日

場 所：宮古島市歴史文化資料館、指導者自宅工房及び研修生自宅

(2) 原材料・用具の確保事業

12ヨミ糸綜統制作、砧台制作を実施した。

(3) 記録作成及び刊行事業

宮古上布技術者向け教本制作事業において編集校正及び印刷製本の委託をした。

(4) 関連技術事業

苧麻績み講座を開講し、経糸講座（講師1名、受講生3名）、緯糸講座（講師1名、受講者2名）にて苧麻績み技術を教授し、制作糸の購入をした。

(5) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

ウ) 重要無形文化財「久米島紬」伝承者養成事業

事業総額：8,229千円（国 8,000千円、県 113千円、町 54千円、保持団体 62千円）

実施方法：国・県・久米島町補助による保持団体直営事業

事業主体：久米島紬保持団体（代表者：桃原 子）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

1 養蚕、絹糸作り、糸つむぎ、真綿作り、図案作成、染色の伝承者養成講座（事業）を実施した。

- 2 養蚕は、5名の講師で伝承者及び桑の葉の取り方から上族まで毎日5～6回の桑の葉の与え方や、上族の時期等の講習を行った。
- 3 絹糸作り、糸つむぎ、真綿作りは、各5名の講師で伝承者にケンネル（座繰り機）等での糸作り、真綿からの糸ひき、撚糸機の撚りかけ方等の講習を行った。
- 4 図案作成は、5名の講師で伝承者に講習を行い、染色は、9名の講師で泥染め技術の講習を行った。
- 5 資料収集整理事業として、資料調査データを収集し、パソコン等で整理を行った。
- 6 技術研究事業として、古い久米島紬の調査を行い、技術研究を行った。
- 7 原材料・用具の確保事業として、養蚕に必要な桑畑の管理を行った。
- 8 講師：イ)養 蚕：①我那覇ケイ子、②桃原積子、③宮平トシ子、④幸地綾子、⑤高坂エミ子
ロ)真綿作り：①我那覇ケイ子、②桃原積子、③宮平トシ子、④幸地綾子、⑤高坂エミ子
ハ)絹糸作り：①我那覇ケイ子、②桃原積子、③宮平トシ子、④幸地綾子、⑤高坂エミ子
ニ)糸つむぎ：①我那覇ケイ子、②桃原積子、③宮平トシ子、④幸地綾子、⑤高坂エミ子
ホ)図 案：①我那覇ケイ子、②桃原積子、③宮平トシ子、④幸地綾子、⑤高坂エミ子
ヘ)染 色：①我那覇ケイ子、②桃原積子、③宮平トシ子、④幸地綾子、⑤高坂エミ子、⑥山城宗太郎、⑦新垣勝秀、⑧宮平登美子、⑨宇江城ヤス子
- 9 伝 承 者：①平田とき子、②山城智子、③古堅ヨシエ、④神里智江、⑤儀間勝枝、⑥佐久田康子、⑦仲地洋子、⑧毛利玲子
- 10 事業期間：令和3年4月1日～令和4年3月30日
- 11 場 所：久米島紬の里ユイマール館
- (2) 原材料・用具の確保
養蚕に必要な桑畑の管理委託を行った。
- (3) その他
文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

② 選定保存技術の伝承者養成事業

ア) 選定保存技術「苧麻糸手績み」伝承者養成事業

事業総額：10,280千円（国10,000千円、県140千円、保存会140千円）

実施方法：国・県補助による保存会直営事業

事業主体：宮古苧麻糸手績み保存会（会長：漢那明美）

事業期間：令和3年4月1日～令和4年3月28日

場 所：宮古島市、多良間村の各講師宅および公民館等

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①初級講習として、宮古上布の原料となる苧麻の収穫から、整経までの5工程を19教場（平良10、下地2、上野3、城辺1、伊良部2、多良間1）において講師各1名、研修生各2～5名で実施した。研修の内容は以下の通り。

1)苧麻刈り取りおよび苧麻引き、2)苧麻裂き、3)苧麻績み、4)撚りかけ、5)かし掛け

②中級講習として、初級講習修了生等を対象により高度で実践的な技術の指導を行った。

③自由に参加できるぶーんみ講座にて講習修了者の継続や研修生候補発掘の場を設けた。

④糸車等の修繕を行った。

(2) 研修発表事業

①多良間コミュニティまつりにて、研修成果発表を実施した。

②研修生の研修成果発表会として苧麻糸展示会を開催した。

(3) 記録の作成及び刊行事業

①記録集の編集委員会において、各編集委員が編目ごとに作成した原稿案をもとに記録集全体の仕上がりに向け検討を行った。

(4) その他

①文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施し、補助事業の各項目について事務調整等を行った。

イ) 選定保存技術「手機製作」技術錬磨及び伝承者養成事業

事業総額：1,123 千円（国 1,106 千円、保持者 45 千円）

実施方法：国・県補助による保持者直営事業

事業主体：大城義政（保持者）

事業内容：手織り機は、手織り用の木製の機（織機）を製作する技術であり、染織品の工芸技術を支える重要な用具製作技術である。長期間乾燥させた木材を使用し、各部材を製材・整形し、組み立てる。この一連の工程には、木材に関する深い知識・加工技術が必要であり、さらに織機の構造・機能、手織り（織物）技術に対する理解と知識が要求される。本年度は、手織り機製作にかかる工程を伝承者 1 名に伝授した。

伝承者：大城伸悟

事業期間：令和 3 年 6 月 30 日～令和 4 年 3 月 30 日

場所：大城織機製作所

ウ) 選定保存技術「琉球藍」伝承者養成事業

事業総額：6,354 千円（国 5,954 千円、町 40 千円、保存会 0 千円）

実施方法：国・町・保存会直営事業

事業主体：琉球藍製造技術保存会（会長：髙原安彦）

事業期間：令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 28 日

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

① 平成 30 年度に保持者の伊野波盛正氏の逝去により、伝承事業と保存会の構成員の見直しを行う必要が出てきたため、一時事業を休止していたが、新しいメンバーを加えて令和 3 年度より事業を再開した。5～6 月の梅雨時期に製藍研修で泥藍づくり、その他の時期は栽培研修として植え付けや肥培管理等を行った。令和 3 年度はコロナの影響で当初予定していた藍染め体験ワークショップの開催ができず、事業計画変更を行い、栽培研修を 10 日間追加し研修を行った。久米島研修・宮古島研修を行い、普段交流する事が難しい地域の方々との意見交換の機会をもち、課題や情報の共有を行い、今後の技術向上に繋げた。

② 場所 講師の各工房

③ 講師 仲西利夫・伊野波盛昭・真栄城興茂・比嘉良松・荒木瑞江・上間守

④ 伝承者 仲西学・許田洋子・澤野孝・森洋治

(2) 普及啓発事業

コロナウイルス拡大感染防止のためワークショップの開催は中止した。

(3) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

エ) 選定保存技術「建造物琉球漆塗・琉球赤瓦製作施工文化財保存技術」伝承者養成事業

事業総額：7,676 千円（国 7,587 千円、保存会 89 千円）

実施方法：国補助による保存会直営事業

事業主体：一般財団法人 沖縄美ら島財団

事業期間：令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

場所：那覇市、与那原町、沖縄美ら島財団（那覇事務所）、沖縄県職業能力開発協会 那覇地域職業訓練センター、八幡瓦工場

事業内容：伝承者養成事業は漆による外壁塗装、瓦製作と瓦漆喰施工の 3 つに分けて行った。

(1) 3 分野 共通講義

i 講義 1：日本建築史

ii 講義 2：文化財保護と保存修理概論

iii 講義 3：首里城正殿復元事業について

(2) 漆による外壁塗装

i 講義 1：国産漆の特性を活かした国宝・重要文化財の保存・修復

ii 実習 1：髹漆実習（工程手板製作実習）

iii 実習 2：建造物塗装 基礎 材料・諸工法（漆塗）一日光建造物漆塗幕府が繋いだ技術一

iv 実習 3：建築彩色概要 一基礎一

v 実習 4：建築彩色概要 一応用一

(3) 瓦製作・瓦漆喰施工 共通講義

i 講義 1：沖縄の古瓦と現代瓦

ii 講義 2：沖縄の瓦の歴史 一中国明代瓦窯と沖縄湧田窯の比較研究一

iii 講義 3：伝統瓦基礎

(4) 瓦製作

i 実習 1：（瓦製作基礎）一前期一

ii 実習 2：（古瓦製造 タタラ起こし～ロクロ成形）

- iii 実習 3 : (古瓦製造 乾燥工程+雌瓦・雄瓦細部成形)
- iv 実習 4 : (瓦製作基礎) 一後期一
- v 実習 5 : (古瓦製造 タタラ起こし~ロクロ成形)
- vi 実習 6 : (古瓦製造 タタラ起こし~ロクロ成形)
- vii 実習 7 : (古瓦製造 乾燥工程+雌瓦・雄瓦細部成形)
- viii 実習 8 : (瓦製作基礎) (古瓦製造 これまでの復習+雌瓦・雄瓦細部成形)
- ix 実習 9 : (古瓦製造 筒状瓦の分割と窯詰め~焼成)
- x 実習 10 : (古瓦製造 窯出し~まとめ)
- (5) 瓦漆喰施工
 - i 実習 1 : 赤瓦葺き基礎
 - ii 実習 2 : 赤瓦漆喰塗一基礎一
 - iii 実習 3 : 赤瓦漆喰塗一上級編一

③ 沖縄県指定無形文化財の伝承者養成事業

ア) 県指定無形文化財「びん型」伝承者養成事業

事業総額：426 千円（県 320 千円、保存会 106 千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統びん型保存会（代表：城間榮順）

事業内容：本年度は、古びん型から学ぶことをテーマに、型紙を使用して染めるびん型を伝統技法に基づきながら、筒引きの風呂敷と創作柄の帯を染めた。

- ① 開講式(保持者とその伝承者が参加して、事業の趣旨を十分に理解した)
- ② 古典柄を参考に下絵を作成した。
- ③ 染地型紙・白地型紙を彫った。
- ④ 彫った型紙を使用して型を置き、色差しをした後、模様を糊で伏せ(ビンウシー)地染めを行った。
- ⑤ 閉講式(作品についての講評等)

講師：城間榮順、知念積元

伝承者：神谷明子、比嘉彩子、知念績人

事業期間：令和3年11月5日～令和4年3月25日

場所：各保持者工房

イ) 県指定無形文化財「本場首里の織物」伝承者養成事業

事業総額：351 千円（県 259 千円、保存会 92 千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統本場首里織物保存会（代表：祝嶺恭子）

事業内容：「道屯織」全工程（意匠設計~製織）の技術指導を実施した。各工程については次のとおりである。

- (1) 意匠設計 (2) 糸精練 (3) 経糸染色 (4) 経糸糊付け (5) 経糸繰返し
- (6) 整経 (7) 仮箆通し (8) 経巻き (9) 綜統通し (10) 箆通し
- (11) 織付け (12) 緯糸染色 (13) 緯糸小管巻き (14) 製織 (15) 整理仕上げ

講師：祝嶺恭子

伝承者：野里愛子、比嘉麻南

事業期間：令和3年9月1日～令和3年12月28日

場所：保持者（祝嶺恭子）工房

ウ) 県指定無形文化財「八重山上布」伝承者養成事業

事業総額：426 千円（県 320 千円、市 60 千円、保存会 46 千円）

実施方法：県・市補助による保存会直営事業

事業主体：八重山上布保存会（代表：新垣幸子）

事業内容：今年度は、3か所の工房で補助事業を実施した。中村澄子の工房では、捺染による着尺の指導を行った。講師の技を受講生の経験に応じて技術指導した。

新垣幸子の工房では、前年度から引き続き、着尺の織り上げに取り組んだ。昨年度の凶案作成も日常の商品として織るものと違い、作品として力量の出せる織りを指導した。多量に括る緯緋、さらに染料の福木や楊梅他の植物染料の引き出しにも時間を必要としたが、染料は美しく染め上げた。染色する時の水の良さも大切なことを織り手に伝える。昨年同様、八重山藍の栽培、色素取り出し、染色を指導する。受講生は、昨年より紅花を栽培し、試染をした。さらに苧麻栽培から繊維取り出し、糸績み等は数年来続け、昨年度から沖縄県立芸術大学で指導する。

松竹喜生子の工房では、着尺の附下げに取り組んだ。染めと地糸、緋糸の巻きとりまで行った。緋の捺染で身頃、そで、おくみ、えりとしるし付けに注意して行い染めるよう指導した。前半は糸績み、管巻き中心であった。コロナの状況もあり、糸績みで集まる事が多くできなかった。

講師：中村澄子、新垣幸子、糸数江美子、平良蓉子、松竹喜生子
伝承者：中村雪江、崎原克友、松竹未来
事業期間：令和3年9月1日～令和4年1月31日
場所：各保持者工房

3. 民俗文化財

(1) 民俗文化財

① 重無民 塩屋湾のウングミ 民俗文化財伝承・活用等事業

事業総額：9,768,544円（国4,884,000円、県840,000円、大宜味村3,516,000円、塩屋湾のウングミ保存・継承委員会528,544円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：塩屋湾のウングミ保存・継承委員会

事業期間：令和3年4月1日から令和4年3月31日

事業目的：重要無形民俗文化財「塩屋湾のウングミ」の祭場として使用される田港ヌンドウンチは、長年の使用により木材や鉄筋コンクリートの劣化が進んでいた。重要無形民俗文化財を保存・継承していけるよう、祭祀の安全管理を図るため建て替えを行った。また、神人駕籠や締太鼓、パーランクーなど祭祀で用いる道具類についても経年劣化が進んでいたため、民俗学的な調査も踏まえた上で、復元新調を行った。令和2年度からの祭祀施設の修理及び道具類の新調について、民俗学的調査も含めた修理報告書を作成した。

② ウイピャームトゥ保存修理事業

事業総額：4,136,000円（県1,241,000円、宮古島市2,895,000円）

事業種別：県単独補助事業

事業主体：宮古島市

事業期間：令和4年1月14日から令和4年3月31日

事業目的：県指定有形民俗文化財「ウイピャームトゥの祭場」3棟は、現在でも集落の祭祀に利用されている。平成30年度の台風により茅葺き屋根がき損している状態であったため、3棟のうち、マイウイピャームトゥの小屋組をチャージで組み、茅葺き屋根の葺き替えを行い、台風対策のために防風ネットを敷設した。

③ 伊是名の神アサギ保存修理事業

事業総額：1,259,500円（県254,000円、伊是名村1,005,500円）

事業種別：県単独助事業

事業主体：伊是名村

事業期間：令和3年11月16日から令和4年3月11日

事業目的：県指定有形民俗文化財「伊是名村伊是名の神アサギ附拝所」の茅葺き屋根が腐食により崩れていたため、小屋組は再利用し、リュウキュウチク、竹、藁縄を用い、伝統的な工法で茅葺き屋根の葺き替えを行った。また、台風対策のために防風ネットを敷設した。

④ 第63回九州地区民俗芸能大会

事業総額：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により映像出演となったため、事業費なし

事業種別：県単独補助事業

事業主体：字玉城獅子舞保存会（南城市）

大会名称：第63回九州地区民俗芸能大会

開催期日：令和3年11月14日（日）

開催場所：鹿屋市文化会館（鹿児島県鹿屋市）

派遣芸能：南城市にある玉城区の獅子舞は、旧暦8月15日のジューグヤウグワン（十五夜御願）の際、区に点在している御嶽や集落北側の高台にあるナーカ（仲加）やアカンミ（赤嶺）などのムラの中心的な拝所でウガミ（拝み）を行った後、区民の前で披露される。普段、ナーカに保管されている獅子は区の守り神（神獅子）として崇められ、1999年までは、ナーカの庭でジューグヤ（十五夜）の獅子舞が行われていた。練習でも獅子をナーカから出す際は、必ずウガミを行っている。昔は雌雄二匹の獅子があったが、集落が分かれた際に雌獅子も一緒に別の集落に移ったため、現在玉城区には雄獅子だけが残っている。

玉城区の獅子舞は、1640年頃より始まったと伝えられており、獅子舞の前に披露される棒術と共に、地域の人々に親しまれてきた。

棒術のメーカタ（舞方）は、頭に紫のサージ、足には白黒の脚絆、白い衣装をまとして力強く演じる。続いて、獅子がワクヤー（獅子を操る人）と一緒に登場する。他地域の獅子舞は初めから太鼓・銅鑼で踊るが、玉城の獅子舞は三線と唄ではじまり、獅子舞唄が終わった後半から太鼓・銅鑼・指笛を使って激しく舞い踊る。三線の曲に合わせて獅子が舞台狭しと舞う様子は、独特の踊り方だと言われている。

獅子舞唄

獅子山の獅子や
人にうちなりてい
遊びまに出だいて
踊るうれしさや

獅子山の獅子は
人々に親しみ馴れて
遊び場に出て来て
踊り嬉しい事よ

ワクヤーは、手にあやつり帯の鈴玉を持ち、顔は化粧をして紫のサージと脚絆、水色の衣装を身にまとい、獅子を操る。そのワクヤーと共に舞う獅子は、平成13（2001）年に製作された4代目の神獅子で、毛の材料は芭蕉を使用している。かなり重さがあり、動きも激しいため、一人前に舞い踊れるまでに4～5年かかると言われている。あごを引き、背を高くみせる等、獅子舞の迫力ある姿を演じる。平成5（1993）年には、玉城村（現南城市）の無形民俗文化財に指定された。

出演演目：

	芸 能 名	出演団体
1	藤木の獅子舞	藤木町獅子舞保存会（佐賀県）
2	松尾山のお田植祭	松会保存会（福岡県）
3	立石楽	立石楽継承活動応援隊（大分県）
4	山宮神社春祭に伴う芸能	山宮神社春祭に伴う芸能保存会（鹿児島県）
5	中之又神楽	中之又神楽保存会（宮崎県）
6	王子町証踊り	王子町鉦踊り・銭太鼓保存会（鹿児島県）
7	獅子舞	字玉城獅子舞保存会（沖縄県）
8	高森阿蘇神社風鎮太鼓	高森町風鎮太鼓保存会（熊本県）
9	対馬の盆踊	阿連盆踊り保存会（長崎県）

※ 九州各県から1団体、開催地鹿児島県は2団体

4. 記念物

(1) 史跡・名勝・文化的景観

本県における国指定の史跡・名勝（特別名勝を含む）、国登録の登録記念物、国選定の文化的景観、県指定の史跡・名勝の件数は合計130件（令和4年5月1日現在）である。令和3年8月27日には石垣市の「海底電線陸揚室跡（電信屋）」が55件目の県指定史跡となり、令和4年6月17日には北谷町の史跡「北谷城跡」が追加指定の答申を受けた。今後も貴重な文化財の適切な保存・活用を図るために、指定等文化財の件数を増やしていく必要がある。

史跡・名勝等の復元整備等については、現在、国・県指定文化財を中心に進めている。令和3年度は史跡の「円覚寺跡」「白保竿根田原洞穴遺跡」「フルスト原遺跡」及び名勝「伊江御殿別邸庭園」で史跡等保存活用計画策定事業を実施したが、このうち「白保竿根田原洞穴遺跡」は事業を令和4年度に繰り越した。歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業は、史跡「中城城跡」「勝連城跡」「浦添城跡」「今帰仁城跡附シイナ城跡」「今帰仁城跡附シイナ城跡（災害復旧）」「具志川城跡」「伊礼原遺跡」「内間御殿」「北大東島嶺鉾山遺跡」「先島諸島火番盛（タカニク）」「宇江城城跡（災害復旧）」「斎場御嶽」「中頭方西海道及び普天満参詣道」「中城ハンタ道」「円覚寺跡」「知念城跡」「糸数城跡」「先島諸島火番盛（小城盛）」及び名勝「伊江殿内庭園」「アマミクヌムイ（越来グスク）」で実施したが、このうち史跡「勝連城跡」「今帰仁城跡附シイナ城跡」「伊礼原遺跡」は事業を令和4年度に繰り越した。重要文化財防災施設整備事業は、史跡「座喜味城跡」と「浦添城跡」で実施した。文化的景観保護推進事業は、重要文化的景観「今帰仁村今泊のフクギ屋敷林と集落景観」と「北大東島の嶺鉾山由来の文化的景観」で実施したが、このうち前者は事業を令和4年度に繰り越した。史跡等買上事業は、史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」「中城ハンタ道」「佐敷城跡」「山田城跡」で直接買上を、史跡「伊礼原遺跡」で先行取得償還を実施した。その他、県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」では保存修理事業を、県指定史跡「ミントングスク」では管理事業を実施した。

①国庫補助事業

ア) 史跡等保存活用計画策定事業

- a) 事業名：史跡「円覚寺跡」史跡等保存活用計画策定事業
事業主体：沖縄県
事業経費：3,520,040円（国2,816,000円、県704,040円）
事業内容：○保存活用計画書を刊行した。

◇円覚寺跡保存活用計画策定委員会

- 1) 令和3年7月21日（対面・オンライン併用）
- 2) 令和4年12月24日（対面・オンライン併用）

- b) 事業名：史跡「白保竿根田原洞穴遺跡」史跡等保存活用計画策定事業

事業主体：沖縄県
事業経費：7,536,380円（国6,028,000円、県1,508,880円）
事業内容：○新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、保存活用計画の策定に必要な回数の委員会が開催できなかったため、次年度に繰り越した。

◇白保竿根田原洞穴遺跡保存計画策定委員会

- 1) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により書面開催
- 2) 令和4年3月16日（八重山合同庁舎）

- c) 事業名：名勝「伊江御殿別邸庭園」史跡等保存活用計画策定事業

事業主体：那覇市
事業経費：3,710,000円（国2,968,000円、県0円、市742,000円）
事業内容：○保存活用計画書を刊行した。

◇伊江御殿別邸庭園保存活用計画策定検討委員会

- 1) 令和4年2月9日（伊江御殿別邸庭園）
- 2) 令和4年3月12日（伊江御殿別邸庭園）

- d) 事業名：史跡「フルスト原遺跡」史跡等保存活用計画策定事業

事業主体：石垣市

事業経費：2,079,657円（国1,663,000円、県0円、市416,657円）

事業内容：○中間報告書を取りまとめた。

◇フルスト原遺跡保存活用計画策定委員会

1) 令和4年3月17日（フルスト原遺跡）

イ) 歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業

a) 事業名：史跡「中城城跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業

事業主体：中城村

事業経費：43,766,551円（国35,013,000円、県975,000円、村7,778,551円）

事業内容：○一の郭南側城壁沿い発掘調査の成果をまとめた報告書を刊行した。

○発掘調査で出土した金属製品の保存処理及び化学分析と、炭化物の年代測定を委託で実施した。

○一の郭北西側城壁の解体及び一部積み直し工事を請負で実施した。工事に係る設計・監理は委託で実施した。

b) 事業名：史跡「勝連城跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業

事業主体：うるま市

事業経費：26,677,000円（国21,341,000円、県594,000円、市4,742,000円）

事業内容：○西原御門の遺構調査の成果をまとめ、報告書を刊行した。

○西原御門の環境整備工事は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で資材調達に遅れが生じたため、次年度に繰り越した。

◇勝連城跡整備委員会

1) 令和3年9月13日（あまわりパーク、勝連城跡）

2) 令和4年3月23日（あまわりパーク、勝連城跡）

c) 事業名：史跡「浦添城跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業

事業主体：浦添市

事業経費：19,890,482円（国15,912,000円、県442,000円、市3,536,482円）

事業内容：○第Ⅱ期整備地区の基本設計を委託で実施した。

○浦添ようどれ出土遺物の化学分析を委託で実施した。

○発掘調査報告書刊行に向けて遺物実測図のトレース、遺物写真の撮影・編集を実施した。

◇浦添城跡整備委員会

1) 令和3年8月20日（浦添市役所、浦添城跡）

2) 令和4年2月24日（浦添市役所、浦添城跡）

d) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業

事業主体：今帰仁村

事業経費：8,618,000円（国6,894,000円、県0円、村1,724,000円）

事業内容：○志慶真門郭南側城壁修理工事に伴う設計を委託で実施した。

○志慶真門郭南側城壁崩落部のレーザー測量（解体前と解体後）を委託で実施した。

◇今帰仁城跡附シイナ城跡調査研究整備委員会

1) 令和4年3月24日（今帰仁村歴史文化センター、今帰仁城跡附シイナ城跡）

e) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業（災害復旧）

事業主体：今帰仁村

事業経費：21,003,000円（国17,852,000円、県0円、村3,151,000円）

事業内容：○平成30年度に崩落した主郭東側城壁の修理工事を請負で実施した。

○修理工事に伴う調査や監理を委託で実施した。

f) 事業名：史跡「具志川城跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業

事業主体：久米島町

事業経費：21,857,495円（国17,485,000円、県486,000円、町3,886,495円）

事業内容：○三の郭崩落面の土質調査（ボーリング）を委託で実施した。

◇具志川城跡整備委員会

1) 令和4年2月17日(具志川城跡)

g) 事業名: 史跡「伊礼原遺跡」歴史活き活き! 史跡等総合活用整備事業

事業主体: 北谷町

事業経費: 37,032,000円(国2,962,500円、県825,000円、町6,582,000円)

事業内容: ○縄文の海地区整備工事について、施工範囲の修正設計が生じ、年度内での完了が困難となったため、次年度に繰り越した。

h) 事業名: 名勝「伊江殿内庭園」歴史活き活き! 史跡等総合活用整備事業

事業主体: 那覇市

事業経費: 14,034,900円(国11,227,000円、県312,000円、市2,495,900円)

事業内容: ○園路の遺構確認及び池底面の現状確認のため発掘調査を実施した。
○主庭部の保存整備工事と植栽工事を請負で実施した。

◇伊江殿内庭園整備委員会

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催できず

i) 事業名: 史跡「内間御殿」歴史活き活き! 史跡等総合活用整備事業

事業主体: 西原町

事業経費: 5,043,374円(国4,034,000円、県112,000円、町897,374円)

事業内容: ○東江御殿石牆(北側)修理工事の実施設計を委託で実施した。

◇内間御殿整備委員会

1) 令和4年2月2日(西原町立図書館、内間御殿)

2) 令和4年3月1日(西原町立図書館、内間御殿)

3) 令和4年3月23日(西原町立図書館、内間御殿)

j) 事業名: 史跡「北大東島燐鉱山遺跡」歴史活き活き! 史跡等総合活用整備事業

事業主体: 北大東村

事業経費: 21,760,000円(国17,408,000円、県484,000円、村3,868,000円)

事業内容: ○燐鉱石貯蔵庫散在遺物整理工事を請負で実施した。工事に伴う監理は委託で実施した。

◇北大東島燐鉱山遺跡整備委員会

1) 令和3年11月8日(北大東島燐鉱山遺跡)

2) 令和4年2月27日(北大東島燐鉱山遺跡)

k) 事業名: 史跡「先島諸島火番盛」歴史活き活き! 史跡等総合活用整備事業

事業主体: 竹富町

事業経費: 2,922,140円(国2,337,000円、県0円、町585,140円)

事業内容: ○タカニクの案内説明板製作及び設置工事を請負で実施した。

○整備基本計画の方針について、火番盛が所在する4市町村(宮古島市・多良間村・石垣市・与那国町)との協議を実施した。

l) 事業名: 史跡「宇江城城跡」歴史活き活き! 史跡等総合活用整備事業(災害復旧)

事業主体: 久米島町

事業経費: 25,071,231円(国21,310,000円、県0円、町3,761,231円)

事業内容: ○令和元年、2年度に崩落した城壁と崩落面の養生工事を請負で実施した。

○崩落面一帯の岩盤及び堆積状況を把握するためボーリング調査を委託で実施した。

○崩落面三次元測量図化を委託で実施した。

◇宇江城城跡整備委員会

1) 令和4年2月18日(宇江城城跡) ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により回数を減少

m) 事業名: 名勝「アマミクスムイ(越来グスク)」歴史活き活き! 史跡等総合活用整備事業

事業主体: 沖縄市

事業経費: 3,318,843円(国2,655,000円、県0円、市663,843円)

事業内容: ○整備基本計画の策定を委託で実施した。

◇アマミクスムイ(越来グスク)整備委員会

1) 令和3年11月26日(越来グスク)

- 2) 令和4年1月31日(越来グスク)
- n) 事業名: 史跡「斎場御嶽」歴史活き活き! 史跡等総合活用整備事業
事業主体: 南城市
事業経費: 6,610,436円(県5,288,000円、県146,000円、市1,176,436円)
事業内容: ○整備基本計画の策定を委託で実施した。
- ◇斎場御嶽整備委員会
- 1) 令和3年8月31日(南城市立知念図書館、斎場御嶽)
 - 2) 令和3年10月28日(南城市役所、斎場御嶽)
 - 3) 令和4年1月13日(南城市役所)
 - 4) 令和4年2月15日(南城市役所)
- o) 事業名: 史跡「中頭方西海道及び普天満参詣道」歴史活き活き! 史跡等総合活用整備事業
事業主体: 浦添市
事業経費: 3,228,900円(国2,583,000円、県0円、市645,900円)
事業内容: ○整備基本計画の策定を委託で実施した。
- ◇中頭方西海道及び普天満参詣道整備委員会
- 1) 令和3年12月8日(浦添市役所)
 - 2) 令和4年2月25日(浦添市役所)
- p) 事業名: 史跡「中城ハンタ道」歴史活き活き! 史跡等総合活用整備事業
事業主体: 中城村
事業経費: 12,891,847円(県10,313,000円、県286,000円、村2,292,847円)
事業内容: ○路面等の遺構を確認するため試掘調査を実施した。
○整備基本設計(ボーリング調査や地形測量等含む)を委託で実施した。
- ◇中城ハンタ道整備委員会
- 1) 令和4年2月22日(中城ハンタ道)
- q) 事業名: 史跡「円覚寺跡」歴史活き活き! 史跡等総合活用整備事業(令和2年度補正繰越)
事業主体: 沖縄県
事業経費: 106,454,899円(国85,163,000円、県21,291,899円)
事業内容: ○木材素屋根設置工事を請負で実施した。工事に係る監理は委託で実施した。
- ◇円覚寺跡整備委員会
- ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催できず
- r) 事業名: 史跡「知念城跡」歴史活き活き! 史跡等総合活用整備事業(令和2年度補正繰越)
事業主体: 南城市
事業経費: 14,946,657円(国11,957,000円、県332,000円、市2,657,657円)
事業内容: ○西側城壁の遺構確認調査を委託で行った。
○西側城壁の積み直しを請負で実施した。工事に係る設計は委託で実施した。
- ◇知念城跡整備委員会
- 1) 令和3年11月30日(知念城跡)
 - 2) 令和4年3月22日(南城市立知念図書館、知念城跡)
- s) 事業名: 史跡「糸数城跡」歴史活き活き! 史跡等総合活用整備事業(令和2年度補正繰越)
事業主体: 南城市
事業経費: 21,385,186円(国17,108,000円、県476,000円、市3,801,186円)
事業内容: ○南のアザナ南側城壁修復工事を請負で実施した。
○保存整備基本設計の基礎資料となる現況地形測量を委託で実施した。
○展望デッキ設置予定箇所の試掘調査を実施した。
- ◇糸数城跡整備委員会
- 1) 令和3年10月7日(南城市役所、糸数城跡)
 - 2) 令和4年2月16日(南城市役所、糸数城跡)
 - 3) 令和4年3月15日(南城市役所、糸数城跡)
- t) 事業名: 史跡「先島諸島火番盛」歴史活き活き! 史跡等総合活用整備事業(先端技術)

事業主体：竹富町

事業経費：36,300,000円（国29,040,000円、県827,000円、町6,433,000円）

事業内容：○次年度以降予定している整備基本計画の基礎資料として、小城盛のレーザー測量を委託で実施した。

ウ) 重要文化財防災施設整備事業

a) 事業名：史跡「座喜味城跡」(災害復旧) 防災施設整備事業(記念物)

事業主体：読谷村

事業経費：5,193,100円（国4,414,000円、県0円、村779,100円）

事業内容：○指定地内西側法面で発生した土砂災害の復旧工事を請負で実施した。

b) 事業名：史跡「浦添城跡」 防災施設整備事業(記念物)

事業主体：浦添市

事業経費：16,390,750円（国12,920,000円、県0円、市3,470,750円）

事業内容：○令和元年に岩が崩落した北側崖面の対策工事を請負で実施した。

エ) 文化的景観保護推進事業

a) 事業名：今帰仁今泊のフクギ屋敷林と集落景観保護推進事業

事業主体：今帰仁村

事業経費：3,429,250円（国2,743,000円、県0円、村686,250円）

事業内容：○重要文化的景観のPR映像制作を委託で実施した。

○重要文化的景観のデジタルアーカイブ制作を委託で実施した。

b) 事業名：北大東島の鱒山由来の文化的景観保護推進事業

事業主体：北大東村

事業経費：4,598,000円（国3,679,000円、県0円、村919,000円）

事業内容：○整備計画の策定を委託で実施し、中間報告書を取りまとめた。

◇北大東島の鱒山由来の文化的景観整備計画策定委員会

1) 令和3年8月27日（八汐荘）

2) 令和3年12月6日（八汐荘）

3) 令和4年2月27日（北大東村人材交流センター）

オ) 史跡等土地買上事業

a) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」 史跡等買上(直接買上) 事業

事業主体：今帰仁村

事業経費：59,913,225円（国47,930,000円、県0円、村119,893,225円）

買上実績：15,716.0㎡ 7筆

b) 事業名：史跡「中城ハンタ道」 史跡等買上(直接買上) 事業

事業主体：中城村

事業経費：18,970,880円（国15,176,000円、県0円、村3,794,880円）

買上実績：1,662.0㎡ 6筆

c) 事業名：史跡「佐敷城跡」 史跡等買上(直接買上) 事業

事業主体：南城市

事業経費：28,512,393円（国22,809,000円、県0円、市5,703,393円）

買上実績：1,499.0㎡ 4筆

d) 事業名：史跡「山田城跡」 史跡等買上(直接買上) 事業

事業主体：恩納村

事業経費：30,849,496円（国24,679,000円、県0円、村6,170,496円）

買上実績：8,245.0㎡ 4筆

e) 事業名：史跡「伊礼原遺跡」 史跡等買上(先行取得償還) 事業

事業主体：北谷町

事業経費：176,979,090円（国24,679,000円、県0円、町35,396,090円）

買上実績：平成24年度より10年間にわたり起債等による借入金を国・県の補助を得て年次計画で償還していく。

②県補助事業

ア) 史跡・名勝保存修理事業

事業名：県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」保存修理事業

事業主体：那覇市

事業経費：427,900円（県128,000円、市299,900円）

事業内容：○石畳道の所々に石の欠損や沈下が確認されており、通行に支障をきたしていたため補修工事を請負で実施した。

イ) 管理事業

事業名：県指定史跡「ミントングスク」管理事業

事業主体：南城市

事業経費：100,000円（県50,000円、市50,000円）

事業内容：○県指定史跡「ミントングスク」の適切な保存と活用を図るため、指定地内の雑草木の除去及び清掃を史跡管理者への委託で実施した。

③史跡・名勝の現状変更等

1) 史跡「首里城跡」の現状変更（令和3年4月19日付け3受文庁第4号の7）

国営沖縄記念公園事務所による首里城正殿等の復元に向け、石積み取り外し及び御庭見学通路（身障者用スロープ）の付け替えを文化庁が同意。

2) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（令和3年5月21日付け3文庁第215号）

今帰仁村によるサイン設置及び、主郭東側城壁修復工事、外郭地区試掘調査を文化庁が許可。

3) 史跡「糸数城跡」の現状変更（令和3年5月21日付け3文庁第215号）

南城市による南のアザナ南側石積の積み直し及び、足場の設置を文化庁が許可。

4) 史跡「知念城跡」の現状変更（令和3年5月21日付け3文庁第215号）

南城市による西側城壁修復工事及び、足場の設置を文化庁が許可。

5) 史跡「座喜味城跡」の現状変更（令和3年5月21日付け3文庁第215号）令和3年4月21日付け教文第145号

読谷村による保存整備に伴う樹木伐採や切土、植生マット設置、寄石を文化庁が許可。

6) 史跡「首里城跡」の現状変更（令和3年6月7日付け3受文庁第4号の269）

国営沖縄記念公園事務所による首里城正殿等の復元に向け、北殿北側見学通路の設置及び、奉神門側御庭既存スロープ縁石等の撤去、植栽の撤去、転落防止フェンスの撤去、照明設備の撤去（広福門ライトアップ用照明設備）、先行配管の設置を文化庁が同意。

7) 史跡「首里城跡」の現状変更（令和3年6月7日付け3受文庁第4号の390）

国営沖縄記念公園事務所による首里城正殿等の復元に向け、陳列館（事務所）新築（附帯設備・外構共）及び、工事前仮設工作物の設置（高所作業用仮設外部足場の設置、資材搬入用乗り入れ構台、資材置き場設置）を文化庁が同意。

8) 史跡「北谷城跡」の現状変更（令和3年6月11日付け3受文庁第4号の389）

沖縄防衛局による構造物（アスファルト舗装及び、水タンク、フェンス、門扉、ガードレール、給水管、電柱、汚水桝、汚水管）の撤去を文化庁が同意。

9) 史跡「北大東島燐鉱山遺跡」の現状変更の期間変更（令和3年6月14日付け3受文庁第4号の403）

令和2年11月20日付2文庁第1217で文化庁が許可し、令和3年3月25日付け2受文庁第4号の2262で期間変更を承認された現状変更の再承認。

10) 史跡「中城城跡」の現状変更（令和3年6月18日付け3文庁第389号）

中城村による一の郭北側及び西側城壁のコーナ一部分の修復工事を文化庁が許可。

- 11) 県指定史跡「伊祖城跡」の現状変更（令和3年7月14日付け沖縄県教育委員会指令第36号）
浦添市による碎石舗装工と階段工の設置を沖縄県教育委員会が許可し、期間変更（令和4年3月14日付け沖縄県教育委員会指令第36-2号）を承認。
- 12) 名勝「伊江殿内庭園」の現状変更（令和3年7月16日付け3文庁第655号）
那覇市による庭園の主底部の園路や池の遺構確認調査を文化庁が許可。
- 13) 名勝「伊江御殿別邸庭園」の現状変更（令和3年7月16日付け3文庁第655号）
那覇市による建物の遺構の有無の確認と池の流末や排水機能の現状の把握のための試掘調査を文化庁が許可。
- 14) 史跡「円覚寺跡」の現状変更（令和3年7月16日付け3文庁第655号）
那覇市による円鑑池内の樹木撤去、石積工、防水工、園路舗装工や説明板・案内板設置を文化庁が許可し、期間変更（令和4年3月23日付け3受文庁財第4号の2374）を承認。
- 15) 名勝「アマミクスミイ ゑぞゑぞのいしぐすく・金ぐすく（伊祖グスク）」の現状変更（令和3年7月16日付け3文庁第655号）
浦添市による碎石舗装工と階段工を文化庁が許可し、期間変更（令和4年3月23日付け3受文庁財第4号の2374）を承認。
- 16) 史跡「浦添城跡」の現状変更（令和3年7月16日付け3文庁第655号）
浦添市による園路整備（路体盛、碎石舗装、階段設置、転落防止柵設置）及び、便益施設〔トイレ〕（本体設置工、給水管引込工、電気設備工）の設置を文化庁が許可。
- 17) 史跡「北大東島燐鉱山遺跡」の現状変更（令和3年7月16日付け3文庁第655号）
北大東村による散在するコンクリート製の柱や梁の撤去を文化庁が許可。
- 18) 史跡「座喜味城跡」の現状変更（令和3年7月26日付け沖縄県教育委員会指令第37号）
読谷村の許可を受け、株式会社ナノバージョンによる企業研修の一環に伴って仮設テントや仮設トイレ、提灯や灯籠等の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 19) 史跡「首里城跡」の現状変更（令和3年8月3日付け3受文庁第4号の779）
国営沖縄記念公園事務所による首里城正殿等の復元に向け、磚の撤去、撤去箇所への採石敷均し、及び北殿北側見学通路施工に伴う工事を文化庁が同意。
- 20) 史跡「首里城跡」の現状変更（令和3年9月9日付け3受文庁第4号の941）
国営沖縄記念公園事務所による首里城正殿等の復元に向け、木材倉庫の新築及び木材倉庫新築に伴う工事に伴う仮設工作物の設置（仮設外部足場、仮囲い、仮設鉄板敷）、北殿基壇の磚撤去、首里城漏刻門外壁修繕補修に伴う仮設外部足場、素屋根、仮囲いの設置を文化庁が同意。
- 21) 史跡「中城城跡」の現状変更（令和3年9月22日付け沖縄県教育委員会指令第43号）
中城村の許可を受け、自由惑星音楽株式会社によるイベント開催に伴う仮設舞台及び、仮設テント、発電機の設置を文化庁が許可。
- 22) 県指定名勝「万座毛」の現状変更の期間変更（令和3年9月27日付け沖縄県教育委員会指令第44号）
学校法人沖縄科学技術大学院大学学園による砂礫採取や金属杭設置、小型水温計設置の調査を和元年6月20日付け、沖縄県教育委員会指令第44号が許可し、期間変更を承認。
- 23) 史跡「首里城跡」の現状変更（令和3年10月5日付け3受文庁第4号の1149）
国営沖縄記念公園事務所による首里城正殿等の復元に向け、配管工事及び、工用仮設道路、下之御庭デジタルサイネージ、北殿北側仮設見学通路及び正殿跡周辺における解説板の設置を文化庁が同意。
- 24) 名勝及び天然記念物「八重干瀬」の現状変更の期間変更（令和3年10月5日付け3受文庁第4号の1323）
学校法人沖縄科学技術大学院大学学園による砂礫採取や金属杭設置、小型水温計設置の調査を令和元年7月19日付け文受庁財第4号の334で文化庁が許可し、期間変更を承認。
- 25) 史跡「宇江城城跡」の現状変更（令和3年10月15日付け3文庁第1253号）
久米島町による一の郭崩落面の養生工事及び、崩落石積みの搬出・集積、一の郭崩落面の土質調査を文化庁

が許可。

- 26) 史跡「具志川城跡」の現状変更（令和3年10月15日付け3文庁第1253号）
久米島町による三の郭外の雑木伐採及び、三の郭外足場設置、三の郭崩落地点のボーリング調査を文化庁が許可。
- 27) 史跡「山田城跡」の現状変更（令和3年10月15日付け3文庁第1253号）
恩納村による指定地の南側に調査区を設定し、城壁遺構等の確認のための調査を文化庁が許可。
- 28) 名勝「伊江殿内庭園」の現状変更（令和3年10月15日付け3文庁第1253号）
那覇市による庭園にて修景を目的とした植栽工と園路A・Cの修復工を文化庁が許可。
- 29) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（令和3年10月25日付け沖縄県教育委員会指令第48号）
今帰仁村の許可を受け、株式会社 YuMe MUSICによるイベント開催に伴う照明・音響設備及び配線、ステージ装飾用イントレ、出演者控え室用の仮設テント等設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 30) 県指定名勝「サンニヌ台」の現状変更（令和3年11月18日付け沖縄県教育委員会指令第49号）
山口大学大学院による試料採取を沖縄県教育委員会が許可。
- 31) 名勝「東平安名崎」の現状変更（令和3年11月19日付け3文庁第1640号）
宮古島市の同意を受け、保良自治会による環境整備協力金徴収用ポールと管理用ブース、環境整備協力金看板の設置を文化庁が許可。
- 32) 史跡「北谷城跡」の現状変更（令和3年11月19日付け3文庁第1640号）
北谷町による指定地丘陵におけるボーリング調査を文化庁が許可。
- 33) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（令和3年11月29日付け沖縄県教育委員会指令第52号）
今帰仁村の許可を受け、現代版組踊 北山の風 北山ていーだの会によるイベントに伴う照明及び音響等配置イントレやスタッフ用の仮設テント、城壁へのライトアップ用投光器設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 34) 史跡「首里城跡」の現状変更（令和3年12月17日付け3受文庁第4号の1991）
国営沖縄記念公園事務所による首里城正殿等の復元に向け、正殿の復元、見学デッキを含む正殿素屋根の新築及び、工事中仮設工作物の設置を文化庁が同意。
- 35) 史跡「糸数城跡」の現状変更（令和3年12月17日付け3文庁第1892号）
南城市による指定地内の北のアザナで展望デッキ設置に向けて行う情報収集のための遺構確認調査を文化庁が許可。
- 36) 史跡「勝連城跡」の現状変更（令和3年12月17日付け3文庁第1892号）
うるま市による敷地造成工及び、施設整備工、標柱等移設工を文化庁が許可。
- 37) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（令和3年12月23日付け沖縄県教育委員会指令第56号）
今帰仁村の許可を受け、今帰仁グスク桜まつり実行委員会によるイベントに伴う照明及び音響等配置イントレ、行灯、城壁へのライトアップ用投光器設置等を沖縄県教育委員会が許可。
- 38) 史跡「座喜味城跡」の現状変更（令和4年1月18日付け沖縄県教育委員会指令第1号）
読谷村による樹木の伐採を沖縄県教育委員会が許可。
- 39) 史跡「今帰仁城跡」の現状変更（令和4年1月20日付け沖縄県教育委員会指令第4号）
今帰仁村によるコンクリートブロック造りの豚舎及びコンクリート造りの浄化槽の撤去工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 40) 史跡「内間御殿」の現状変更（令和4年1月21日付け3文庁第2118号）
西原町による樹木の保全に伴う土壌改良を文化庁が許可。
- 41) 史跡「伊礼原遺跡」の現状変更（令和4年1月21日付け3文庁第2118号）
北谷町による園路広場整備工事（舗装工、園路縁石工、修景施設整備工、管理施設整備工及び植栽工）を文化庁が許可。
- 42) 県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」の現状変更（令和4年1月21日付け沖縄県教育委員会指令第5号）

那覇市より許可を受け、沖縄電力株式会社送配電本部那覇支店理事支店による傾斜した電柱の建替工事を沖縄県教育委員会が許可。

- 43) 県指定史跡「伊是名城跡」の現状変更（令和4年1月25日付け沖縄県教育委員会指令第6号）
伊是名村による遺構確認を目的とした発掘調査を沖縄県教育委員会が許可。
- 44) 史跡「座喜味城跡」の現状変更（令和4年2月1日付け沖縄県教育委員会指令第7号）
読谷村による排水管設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 45) 県指定名勝「伊江村の城山」の現状変更（令和4年2月3日付け沖縄県教育委員会指令第8号）
伊江村による既存の落石防止策の撤去及び再設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 46) 県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」の現状変更（令和4年2月3日付け沖縄県教育委員会指令第11号）
那覇市による歩行者及び車両の円滑な通行を確保するための整備に伴う石敷き補修工事を沖縄県教育委員会
が許可。
- 47) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（令和4年2月4日付け沖縄県教育委員会指令第9号）
今帰仁村の許可を受け、株式会社高橋企画によるイベントに伴う照明及び音響配置イントレ、仮設テント、
仮設トイレ、仮設電源、投光器設置等を沖縄県教育委員会が許可。
- 48) 史跡「首里城跡」の現状変更（令和4年2月18日付け3受文庁第4号の2120）
国営沖縄記念公園事務所による首里城正殿復元に向け、屋根瓦の色調と瓦当文様及び、正殿の北側避難口設
置等、二階御差床高欄、大龍柱の向き、小屋丸太梁の樹種を文化庁が同意。
- 49) 史跡「首里城跡」及び名勝「首里城書院・鎖之間庭園」の現状変更（和4年2月22日付け3受文庁第4号の1998）
国営沖縄記念公園事務所による首里城正殿復元に向け、書院・鎖之間跡の既設スラブ上へ工事警備室の基礎
及び露出配管を施工文化庁が同意。
- 50) 史跡「座喜味城跡」の現状変更（令和4年3月9日付け沖縄県教育委員会指令第13号）
読谷村による指定地内においてピープルカウンターの設置を沖縄県が許可。
- 51) 名勝「宮良殿内庭園」の現状変更（令和4年3月18日付け3文庁第2829号）
石垣市による石牆の積み直しと一部の竹の伐採を文化庁が許可。
- 52) 史跡「首里城跡」の現状変更（令和4年3月23日付け3受文庁第4号の2311）
国営沖縄記念公園事務所による首里城正殿復元に向け、配管新設及び既存配管の更新に伴う試掘を文化庁が
同意。

(2) 天然記念物

①天然記念物緊急調査事業（国庫補助事業）

事業名：天然記念物緊急調査（トゲネズミ）

事業総額：3,980千円（国3,184千円、県796千円）

事業主体：沖縄県

事業期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

事業目的：沖縄本島北部に生息する野生のネズミである。生態や個体数などについては、未だ不明な点が多く近年目撃事例も非常に少ない。2008年に再確認されるまで絶滅すら危ぶまれた。今後具体的な保護策を講じる上でも、生息状況を把握するための緊急調査を実施する必要がある。

事務局：沖縄県教育庁文化財課

事業内容：(1)調査地：沖縄本島北部地域 (2)調査項目：a) 生息実態調査 b) 行動観察等

②天然記念物緊急調査事業（国庫補助事業）

事業名：国指定天然記念物緊急調査事業（伊平屋島のウバメガシ群落）

事業総額：6,498千円（国5,190千円、県338千円、伊平屋村970千円）

事業主体：伊平屋村

事業期間：令和3年4月1日～令和4年3月23日

事業目的：日本列島の南限地域にあるウバメガシ群落の未調査地域の調査を行う。伊平屋島内の主要なウバメガシ林としては、安波岳、腰岳、火立て森、マージヤ御嶽、後岳のウバメガシ林等があるが、令和3年3月に国の天然記念物に指定された虎頭岩周辺と同様の価値があると思われるため、追加指定に資する調査を行うと同時に、その結果を保存活用計画に反映する。調査内容は、植物相調査、群落調査、毎木調査である。

③天然記念物再生事業（国庫補助事業）

事業名：天然記念物再生（慶佐次湾のヒルギ林）

事業総額：4,070千円（国3,256千円、県203千円、東村611千円）

事業主体：東村

事業期間：令和3年7月19日～令和4年2月28日

事業目的：河川周辺からの赤土等の流入による天然記念物植生域の陸地化等による外来生物の侵入、植生分布範囲の拡大による河川生態系への劣化が懸念されているため、外来生物及び特定外来生物の分布調査を行い駆除及び防除策を実施するとともに、今後の適正な維持管理体制を構築する。

④天然記念物再生事業（国庫補助事業）

事業名：天然記念物再生（平久保のヤエヤマシタン）

事業総額：3,128千円（国2,502千円、県156千円、石垣市470千円）

事業主体：石垣市

事業期間：令和3年4月1日～令和4年3月25日

事業目的：ヤエヤマシタンはマメ科に属する高木種で、石垣市平久保に残っている自生地が我が国における植物分布上北限を示している。近年、シタンヒメヨコバイによる被害が目立ち、放置すると枯死する可能性がある。またシロアリの被害も認められた。そのため害虫駆除と併せて土壌改良を行い樹勢の回復に努める。

⑤天然記念物再生事業（国庫補助事業）

事業名：天然記念物再生（首里金城の大アカギ）

事業総額：3,531千円（国2,824千円、県176千円、那覇市531千円）

事業主体：那覇市

事業期間：令和3年10月21日～令和4年3月16日

事業目的：首里金城の大アカギは樹齢200年以上と推定される5本の大木群である。平成29年度に簡易的な樹勢の診断業務を行ったところ良好な状態ではないことが判明した。それに加えて近年県内全域で害虫のヨコバイが大発生している。そのため土壌改良を行い樹勢の回復に努める。

⑥天然記念物環境整備事業（県補助事業）

事業名：宮古馬保存環境整備事業（宮古馬）

事業総額：2,863千円（県795千円、宮古島市2,068千円）

事業主体：宮古島市

事業期間：令和4年2月2日～令和4年3月31日

事業目的：新たな牧場に、沖縄県指定天然記念物「宮古馬」の保存管理のための柵を整備した。

⑦天然記念物の現状変更等

令和3年度

- 1) 【県天】クロイトカゲモドキの現状変更(捕獲及び飼育)申請 (R3.4.6 許可)
申請者(日付):一般財団法人沖縄美ら島財団理事長 (R3.3.22)
許可(期間): 令和3年4月6日 付け 沖縄県教育委員会指令第20号 (R3.4.6 ~R6.4.30)
- 2) 【国天】平久保のヤエヤマシタンの現状変更(樹勢回復)申請 (R3.4.15 進達)
申請者(日付):石垣市長 (R3.4.2)
許可(期間): 令和3年5月21日 付け 3文庁第215号 (R3.5.21 ~R4.3.30)
- 3) 【国天】米原のヤエヤマヤシ群落の現状変更(動物調査及び工作物設置)協議 (R3.4.27 進達)
協議者(日付):環境省沖縄奄美環境事務所長 (R3.4.21)
同意(期間): 令和3年5月14日 付け 3受文庁第4号の210 (R3.5.14 ~R4.7.31)
- 4) 【国天】仲の神島海鳥繁殖地の現状変更(海鳥調査及び工作物の設置)申請 (R3.4.27 進達)
申請者(日付):Island Ecosystem Research (R3.4.7)
許可(期間): 令和3年5月21日 付け 3文庁第215号 (R3.5.21 ~R6.3.31)
- 5) 【国天】カムリワシの現状変更(調査及び発信器の装着)申請 (R3.5.7 許可)
申請者(日付):Island Ecosystem Research (R3.4.7)
許可(期間): 令和3年5月7日 付け 沖縄県教育委員会指令第22号 (R3.5.7 ~R4.9.30)
- 6) 【県天】嘉津宇岳安和岳八重岳自然保護区の現状変更(植物採取)申請 (R3.5.13 許可)
申請者(日付):一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究センター植物研究室 (R3.5.13)
許可(期間): 令和3年5月13日 付け 沖縄県教育委員会指令第24号 (R3.5.13 ~R5.3.31)
- 7) 【国天】オカヤドカリ、キシノウエトカゲの現状変更(イタチ捕獲器設置)申請 (R3.5.13 進達)
申請者(日付):八千代エンジニアリング株式会社沖縄事務所所長 (R3.4.5)
許可(期間): 令和3年6月18日 付け 3文庁第389号 (R3.6.18 ~R4.3.31)
- 8) 【県天】フタオチョウの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R3.5.13 許可)
申請者(日付):沖縄防衛局長 (R3.4.28)
同意(期間): 令和3年5月13日 付け 沖縄県教育委員会指令第25号 (R3.5.13 ~R4.3.31)
- 9) 【県天】ミヤコカナヘビの現状変更(調査及び移動)申請 (R3.5.25 許可)
申請者(日付):日本工営株式会社沖縄支店支店長 (R3.4.26)
許可(期間): 令和3年5月25日 付け 沖縄県教育委員会指令第26号 (R3.5.25 ~R4.3.31)
- 10) 【県天】イボイモリ、クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R3.5.25 許可)
申請者(日付):沖縄県 南部土木事務所 所長 (R3.5.13)
許可(期間): 令和3年5月2日 付け 沖縄県教育委員会指令第27号 (R3.5.25 ~R6.6.1)
- 11) 【国天】宮良川のヒルギ林の現状変更(礫の採取)申請 (R3.5.26 進達)
申請者(日付):東北学院大学 (R3.4.30)
許可(期間): 令和3年6月18日 付け 3文庁第389号 (R3.6.18 ~R3.3.31)

- 12) 【県天】イボイモリの現状変更(永年飼育)申請 (R3.5.31 許可)
 申請者(日付):公益財団法人沖縄こどもの国 園長 (R3.3.13)
 許可(期間): 令和3年5月31日 付け 沖縄県教育委員会指令第29号 (R3.5.31 ~ 個体滅失)
- 13) 【県天】ミヤコカナヘビの現状変更(一時捕獲及び試料採取)申請 (R3.6.8 許可)
 申請者(日付):琉球大学熱帯生物圏研究センター (R3.6.1)
 許可(期間): 令和3年6月8日 付け 沖縄県教育委員会指令第30号 (R3.6.8 ~ R4.6.30)
- 14) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R3.6.14 進達)
 申請者(日付):宜野湾市長 (R3.6.3)
 許可(期間): 令和3年7月16日 付け 3文庁第655号 (R3.7.16 ~ R4.3.31)
- 15) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R3.6.16 進達)
 申請者(日付):沖縄県知事 (R3.6.1)
 許可(期間): 令和3年7月16日 付け 3文庁第655号 (R3.7.16 ~ R4.3.31)
- 16) 【県天】ホルストガエル、イボイモリの現状変更(一時捕獲及び調査)申請 (R3.6.15 許可)
 申請者(日付):沖縄県知事 (R3.5.27)
 許可(期間): 令和3年6月18日 付け 沖縄県教育委員会指令第31号 (R3.6.18 ~ R4.3.10)
- 17) 【県天】フタオチョウ、クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R3.6.18 許可)
 申請者(日付):宜野湾市長 (R3.6.3)
 許可(期間): 令和3年6月18日 付け 沖縄県教育委員会指令第32号 (R3.6.18 ~ R4.3.31)
- 18) 【国天】首里金城の大アカギの現状変更(木道等設置)申請 (R3.6.22 進達)
 申請者(日付):那覇市長 (R3.6.17)
 許可(期間): 令和3年7月16日 付け 3文庁第655号 (R3.7.16 ~ R4.3.28)
- 19) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)協議 (R3.6.24 進達)
 協議者(日付):沖縄防衛局 (R3.6.10)
 許可(期間): 令和3年8月5日 付け 3受文庁第4号の717 (R3.7.9 ~ R4.3.31)
- 20) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)期変 (R3.6.24 進達)
 期変者(日付):沖縄県 南部土木事務所 所長 (R3.6.16)
 許可(期間): 令和3年7月9日 付け 3受文庁第4号の719 (R3.7.9 ~ R6.7.17)
- 21) 【国天】ヤンバルクイナの現状変更(野生復帰試験)協議 (R3.6.25 進達)
 協議者(日付):環境省那覇自然環境事務所長 (R3.6.23)
 同意(期間): 令和3年7月15日 付け 3受文庁第4号の720 (R3.7.15 ~ 2024/6/3)
- 22) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)協議 (R3.6.25 進達)
 協議者(日付):沖縄防衛局 (R3.6.21)
 同意(期間): 令和3年7月2日 付け 3受文庁第4号の721 (R3.7.2 ~ R8.3.31)
- 23) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R3.6.28 進達)
 申請者(日付):名護市長 (R3.6.24)
 許可(期間): 令和3年7月16日 付け 3文庁第655号 (R3.7.16 ~ R5.2.28)
- 24) 【国天】慶佐次湾のヒルギ林の現状変更(外来種除去)申請 (R3.6.28 進達)
 申請者(日付):東村教育委員会教育長 (R3.6.25)
 許可(期間): 令和3年7月16日 付け 3文庁第655号 (R3.7.16 ~ R4.3.31)
- 25) 【国天】慶佐次湾のヒルギ林の現状変更(試料採取)申請 (R3.7.6 許可)
 申請者(日付):東村長 (R3.6.21)
 許可(期間): 令和3年7月6日 付け 沖縄県教育委員会指令第33号 (R3.7.6 ~ R4.2.28)
- 26) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R3.7.16 進達)
 申請者(日付):学校法人沖縄科学技術大学院大学学園 理事長 (R3.6.24)
 許可(期間): 令和3年8月23日 付け 3文庁905号 (R3.8.23 ~ R6.6.15)
- 27) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)協議 (R3.7.21 進達)
 協議者(日付):沖縄防衛局長 (R3.4.13)
 同意(期間): 令和3年8月12日 付け 3受文庁第4号の900 (R3.8.12 ~ R4.3.31)
- 28) 【県天】イボイモリ・クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R3.7.29 許可)
 申請者(日付):学校法人沖縄科学技術大学院大学学園 理事長 (R3.6.24)
 許可(期間): 令和3年7月29日 付け 沖縄県教育委員会指令第39号 (R3.7.29 ~ R6.5.24)
- 29) 【国天】塩川の現状変更(試料採取)申請 (R3.8.16 許可)
 申請者(日付):琉球大学理学部海洋自然科学科生物系准教授 (R3.8.2)
 許可(期間): 令和3年8月16日 付け 沖縄県教育委員会指令第40号 (R3.8.16 ~ R3.3.31)

- 30) 【国天】平久保のヤエヤマシタンの現状変更(樹勢回復)計変 (R3.8.16 進達)
計変者(日付):石垣市長 (R3.8.11)
許可(期間): 令和3年8月27日 付け 3受文庁第4号の1012 (R3.8.27 ~R3.3.31)
- 31) 【県天】ミヤコサワガニ、ミヤコカナヘビの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R3.8.13 許可)
申請者(日付):沖縄県農林水産部宮古農林水産振興センター所長 (R3.8.3)
許可(期間): 令和3年8月13日 付け 沖縄県教育委員会指令第38号 (R3.8.13 ~R4.3.31)
- 32) 【県天】イボイモリ、クワイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R3.8.26 許可)
申請者(日付):南城市教育委員会教育長 (R3.8.12)
許可(期間): 令和3年8月26日 付け 沖縄県教育委員会指令第42号 (R3.8.26 ~R4.3.15)
- 33) 【国天】久米の五枝のマツの現状変更(松枯れ病対策)申請 (R3.9.24 進達)
申請者(日付):久米島町長 (R3.9.22)
許可(期間): 令和3年10月15日 付け 3文庁第1253号 (R3.10.15 ~R7.3.31)
- 34) 【国天】オカヤドカリの現状変更(マングース捕獲器設置)期変 (R3.9.27 進達)
期変者(日付):八千代エンジニアリング株式会社沖縄事務所所長 (R3.9.15)
許可(期間): 令和3年10月15日 付け 3文庁第1253号 (R3.10.15 ~R6.12.31)
- 35) 【国天】与那覇岳天然保護区域の現状変更(植物調査及び採取)申請 (R3.9.28 進達)
申請者(日付):株式会社環境保全研究所代表取締役 (R3.9.24)
許可(期間): 令和3年10月15日 付け 3文庁第1253号 (R3.10.15 ~R4.3.25)
- 36) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び飼育等)申請 (R3.10.15 進達)
申請者(日付):沖縄県立高等学校教諭 (R3.9.24)
許可(期間): 令和3年10月15日 付け 3文庁第1253号 (R3.10.15 ~R3.12.31)
- 37) 【県天】アマミヤマシギの現状変更(標識及び発信器の装着)申請 (R3.9.30 許可)
申請者(日付):公益財団法人日本鳥類保護連盟 (R3.9.21)
許可(期間): 令和3年9月30日 付け 沖縄県教育委員会指令第45号 (R3.9.30 ~R4.3.31)
- 38) 【国天】仲間川天然保護区域の現状変更(魚類調査及び採取)申請 (R3.9.29 進達)
申請者(日付):東京大学大気海洋研究所 (R3.9.28)
許可(期間): 令和3年10月15日 付け 3文庁第1253号 (R3.10.15 ~R4.3.31)
- 39) 【県天】天底のシマチスジノリの現状変更(調査及び採取)申請 (R3.10.18 許可)
申請者(日付):株式会社沖縄環境保全研究所 代表取締役 (R3.9.30)
許可(期間): 令和3年10月18日 付け 沖縄県教育委員会指令第46号 (R3.10.18 ~R4.3.25)
- 40) 【県天】嘉津宇岳安和岳八重岳自然保護区の現状変更((植物等調査及び試料採取)申請 (R3.10.20 許可)
申請者(日付):国立科学博物館 分子生物多様性研究資料センター 特定非常勤 (R3.10.11)
勤研究員
許可(期間): 令和3年10月20日 付け 沖縄県教育委員会指令第47号 (R3.10.20 ~R7.3.31)
- 41) 【国天】オカヤドカリ、セマルハコガメ、キシノウエトカゲの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R3.10.26 許可)
申請者(日付):株式会社ユニマツプレシヤス代表取締役 (R3.10.13)
許可(期間): 令和3年11月19日 付け 3文庁第1640号 (R3.11.19 ~R6.8.31)
- 42) 【国天】セマルハコガメの現状変更(試料採取)申請 (R3.11.25 許可)
申請者(日付):東海大学生物学部生物学科講師 (R3.11.18)
許可(期間): 令和3年11月25日 付け 沖縄県教育委員会指令第51号 (R3.11.25 ~R3.12.31)
- 43) 【県天】嘉津宇岳安和岳八重岳自然保護区の現状変更(植物調査及び採取)申請 (R3.11.30 許可)
申請者(日付):株式会社沖縄環境保全研究所代表取締役 (R3.11.19)
許可(期間): 令和3年11月30日 付け 沖縄県教育委員会指令第53号 (R3.11.30 ~R4.3.25)
- 44) 【国天】与那覇岳天然保護区域の現状変更(植物調査及び採取)申請 (R3.12.7 許可)
申請者(日付):国立環境研究所 (R3.11.11)
許可(期間): 令和4年1月21日 付け 3文庁第2118号 (R4.1.21 ~R5.3.31)
- 45) 【国天】ケラマジカおよびその生息地の現状変更(工作物の設置)申請 (R3.12.7 許可)
申請者(日付):学校法人沖縄科学技術大学院大学学園 理事長 (R3.7.26)
許可(期間): 令和3年12月7日 付け 沖縄県教育委員会指令第54号 (R3.12.7 ~R5.3.31)
- 46) 【県天】嘉津宇岳安和岳八重岳自然保護区の現状変更(試料採取)申請 (R3.12.7 進達)
申請者(日付):国立科学博物館 分子生物多様性研究資料センター特定非常勤 (R3.11.18)
研究員
許可(期間): 令和3年12月7日 付け 沖縄県教育委員会指令第55号 (R3.12.7 ~R5.3.31)

- 47) 【国天】首里金城の大アカギの現状変更(樹勢回復)申請 (R3.12.21 進達)
申請者(日付):那覇市長 (R3.12.20)
許可(期間): 令和4年1月21日 付け 3文庁第2118号 (R4.1.21 ~ R4.3.31)
- 48) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R3.12.21 進達)
申請者(日付):伊是名村長 (R3.12.16)
許可(期間): 令和4年1月21日 付け 3文庁第2118号 (R4.1.21 ~ R6.8.31)
- 49) 【国天】イリオモテヤマネコの現状変更(生態調査及び試料採取)協議 (R3.12.21 進達)
協議者(日付):環境省沖縄奄美自然環境事務所所長 (R3.12.7)
同意(期間): 令和4年1月11日 付け 3受文庁第4号の1878 (R4.1.11 ~ R6.3.31)
- 50) 【国天】宮良川のヒルギ林の現状変更(土壌採取)申請 (R3.12.23 進達)
申請者(日付):国際研究開発法人 国際農林水産業センター 熱帯・島嶼研究拠点 所長 (R3.12.20)
許可(期間): 令和4年1月21日 付け 3文庁第2118号 (R4.1.21 ~ R6.3.31)
- 51) 【国天】首里金城の大アカギの現状変更(木道等設置)計画 (R3.12.23 進達)
計画者(日付):那覇市長 (R3.12.21)
許可(期間): 令和4年2月21日 付け 3受文庁第4号の1897 (R4.2.21 ~ R4.3.31)
- 52) 【国天】慶佐次湾のヒルギ林の現状変更(土砂の浚渫)申請 (R3.12.23 進達)
申請者(日付):東村長 (R3.12.16)
許可(期間): 令和4年1月21日 付け 3文庁第2118号 (R4.2.21 ~ R4.3.31)
- 53) 【国天】リュウキュウヤマガメの現状変更(一時捕獲及び標識装着)申請 (R4.1.21 許可)
申請者(日付):高田爬虫類研究所沖縄分室 室長 (R3.12.27)
許可(期間): 令和4年1月21日 付け 沖縄県教育委員会指令第2号 (H18.12.21 ~ R2.5.28)
- 54) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R4.1.20 進達)
申請者(日付):浦添市長 (R4.1.14)
許可(期間): 令和4年2月18日 付け 3文庁第2343号 (R4.2.18 ~ R4.12.23)
- 55) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R4.1.25 進達)
申請者(日付):伊江村長 (R4.1.19)
許可(期間): 令和4年2月18日 付け 3文庁第2343号 (R4.2.18 ~ R4.3.31)
- 56) 【県天】クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R4.2.3 許可)
申請者(日付):伊江村長 (R4.1.26)
許可(期間): 令和4年2月3日 付け 沖縄県教育委員会指令第10号 (R4.2.3 ~ R4.3.31)
- 57) 【国天】オカヤドカリの現状変更(採取)申請 (R4.2.15 進達)
申請者(日付):沖縄オカヤドカリ取扱商組合 組合長 (R4.1.13)
許可(期間): 令和4年3月18日 付け 3文庁第282号 (R4.3.18 ~ R4.9.30)
- 58) 【国天】オカヤドカリの現状変更(無断現状変更(輸出))申請 (R4.2.21 進達)
申請者(日付):(株)ファーイーストエンタープライズ代表取締役 (R4.2.1)
許可(期間): 令和4年4月8日 付け 3受文庁第4号の3858 (R3.7.21 ~ R3.11.17)
- 59) 【県天】粟国村字西の御願の植物群落の現状変更(植栽木の撤去)申請 (R4.2.21 許可)
申請者(日付):粟国村長 (R4.2.2)
許可(期間): 令和4年2月21日 付け 沖縄県教育委員会指令第12号 (R4.2.21 ~ R4.2.28)
- 60) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R4.2.24 進達)
申請者(日付):名護市長 (R4.2.21)
許可(期間): 令和4年3月18日 付け 3文庁第2829号 (R4.3.18 ~ R5.9.30)
- 61) 【国天】リュウキュウヤマガメ、オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)協議 (R4.3.10 進達)
協議者(日付):沖縄防衛局長 (R4.2.17)
同意(期間): 令和4年5月9日 付け 3受文庁第4号の2359 (R4.5.9 ~ R5.3.31)
- 62) 【県天】イボイモリ、クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)協議 (R4.3.11 許可)
協議者(日付):沖縄防衛局長 (R4.2.17)
許可(期間): 令和4年3月11日 付け 沖縄県教育委員会指令第14号 (R4.3.11 ~ R5.3.31)
- 63) 【県天】イボイモリ、クロイトカゲモドキの現状変更(一時捕獲及び移動)申請 (R4.3.15 許可)
申請者(日付):沖縄総合事務局北部国道事務所長 (R4.2.28)
許可(期間): 令和4年3月15日 付け 沖縄県教育委員会指令第15号 (R4.3.15 ~ R5.3.31)
- 64) 【県天】クロイトカゲモドキの現状変更(捕獲及び飼育)申請 (R4.3.15 許可)
申請者(日付):一般財団法人沖縄美ら島財団理事長 (R4.2.22)
許可(期間): 令和4年3月15日 付け 沖縄県教育委員会指令第16号 (R4.3.15 ~ R5.4.30)

- 65) 【県天】イボイモリの現状変更(調査及び試料採取)申請 (R4.3.14 許可)
 申請者(日付):琉球大学教育学部 准教授 (R4.3.9)
 許可(期間): 令和4年3月14日 付け 沖縄県教育委員会指令第17号 (R4.3.14 ~R7.3.31)
- 66) 【国天】星立天然保護区域の現状変更(土壌採取)申請 (R4.3.18 進達)
 申請者(日付):東京農業大学 (R4.3.6)
 許可(期間): 令和4年4月22日 付け 4文庁第19号 (R4.4.22 ~R6.3.31)
- 67) 【県天】嘉津宇岳安和岳八重岳自然保護区の現状変更(昆虫トラップの設置及び植生調査)申請 (R4.3.22 許可)
 申請者(日付):学校法人沖縄科学技術大学院大学学園 理事長 (R4.3.7)
 許可(期間): 令和4年3月22日 付け 沖縄県教育委員会指令第19号 (R4.3.22 ~R6.3.31)
- 68) 【県天】クメジマボタルの現状変更(試料採取)申請 (R4.3.23 許可)
 申請者(日付):長崎大学 (R4.3.10)
 許可(期間): 令和4年3月23日 付け 沖縄県教育委員会指令第20号 (R4.3.22 ~R5.3.31)
- 69) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)協議 (R4.3.25 進達)
 協議者(日付):沖縄防衛局長 (R4.3.4)
 同意(期間): 令和4年3月30日 付け 3受文庁第4号の2480 (R4.3.30 ~R5.3.31)
- 70) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)協議 (R4.3.25 進達)
 協議者(日付):沖縄防衛局長 (R4.3.10)
 同意(期間): 令和4年3月30日 付け 3受文庁第4号の2481 (R4.3.30 ~R7.3.31)
- 71) 【県天】イシカワガエル、ホルストガエル、イボイモリの現状変更(飼育及び試料採取)申請 (R4.3.31 許可)
 申請者(日付):広島大学両生類研究センター長 (R4.3.31)
 許可(期間): 令和4年3月31日 付け 沖縄県教育委員会指令第22号 (R4.3.31 ~R8.3.31)

5. 埋蔵文化財

埋蔵文化財は、全国各地の歴史や文化の成り立ちを理解する上で欠くことのできない、国民共有の貴重な歴史的財産である。沖縄県には現時点で約 4,000 箇所が確認されており、旧石器時代から近代に至る時期の貝塚や集落跡、古墓、グスク、さらには水中遺跡や戦争遺跡等、その種別は多岐にわたる。埋蔵文化財は他の文化財同様、文化財保護法による保護対象となっており、その規定により各種手続き、処理が行われる。

令和 3 年度の開発事業計画地域内の「埋蔵文化財の所在の有無」の照会・協議は 11 件あり、うち 1 件は包蔵地内のため当該市町村教育委員会との調整を指示している。

周知の埋蔵文化財包蔵地（以下包蔵地）内での民間工事に伴う 93 条及び公共事業に伴う 94 条の届出は 93 件であった。回答の内訳は、慎重工事 32 件、工事立会 41 件、発掘調査 20 件となっている。また、このうち米軍基地に関連する届出は 11 件あり、うち 5 件は発掘調査の回答とした。また市町村別の内訳では、名護市 19 件、那覇市 16 件、豊見城市 10 件、南城市 7 件、宮古島市 6 件、糸満市 5 件、大宜味村・恩納村 4 件、八重瀬町 3 件、伊江村・北中城村・宜野湾市・金武町・竹富町 2 件、石垣市・浦添市・うるま市・沖縄市・嘉手納町・今帰仁村・西原町・本部町・読谷村 1 件であった。

96 条及び 97 条に係る遺跡発見届及び通知は 5 件である。これに対する措置は、慎重工事 2 件、工事立会 0 件、発掘調査 3 件となった。市町村別の内訳では、那覇市・南城市・西原町・宮古島市・八重瀬町 1 件であった。

102 条に係る埋蔵物の監査及び文化財認定は 52 件であった。

107 条に係る出土文化財の譲与申請は 1 件であった。

92 条第 1 項に係る発掘調査の届出は 2 件であった。

99 条第 1 項に係る発掘調査の報告は 33 件であった。調査目的の内訳は、各種開発に伴うものが 28 件、保存目的の範囲内容確認調査 2 件で、学術研究を目的とした調査は 3 件であった。調査主体者の内訳は、那覇市文化財課 8 件、名護市教育委員会 6 件、沖縄県立埋蔵文化財センター 5 件、沖縄県立博物館・美術館 3 件、大宜味村教育委員会・北中城村教育委員会 2 件、石垣市教育委員会・糸満市教育委員会・浦添市教育委員会・嘉手納町教育委員会・宜野湾市教育委員会・金武町教育委員会・竹富町教育委員会 1 件である。

その他、独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所が毎年開催する文化財担当者専門研修については、研修参加は 3 件となった。鉱業法第 24 条の規定に基づく協議が 3 件あった。

沖縄県内における令和 2 年度の埋蔵文化財専門職員数は 92 名である（図 1）。発掘調査件数の推移では、令和 2 年度は工事件数が増加しており、試掘件数も増加の傾向が続いている（図 2）。発掘調査費用について、令和 2 年度および令和 3 年度文化財課要覧で報告した沖縄県内の発掘調査経費の推移のうち、平成 30 年度・令和元年度の試掘・確認調査費用が間違っていたことが判明したため、修正した発掘調査経費の推移を示す（図 3）。近年では平成 29 年度・令和元年度は米軍基地関係調査（本調査）の増加に伴い 20 億円前後まで増加しているが、全体の傾向としてはほぼ横ばいである。

図1 沖縄県内埋蔵文化財担当職員数の推移（単位：人）

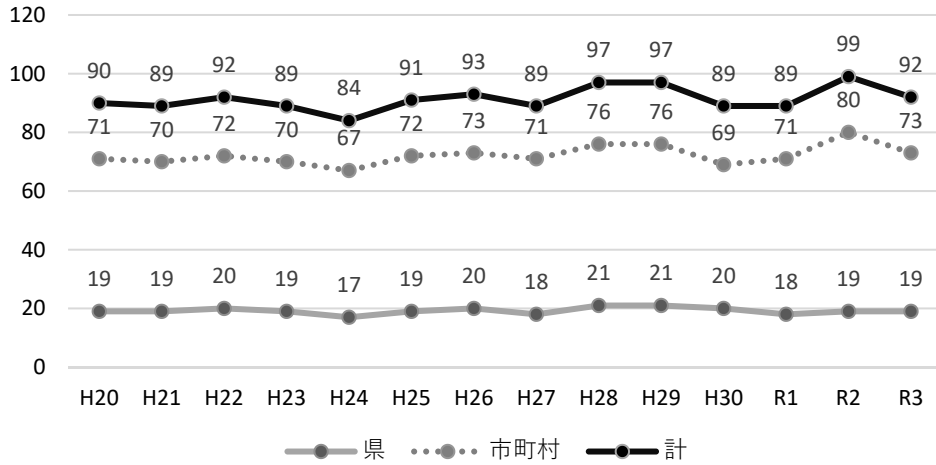


図2 沖縄県内における発掘調査件数の推移（単位：件）

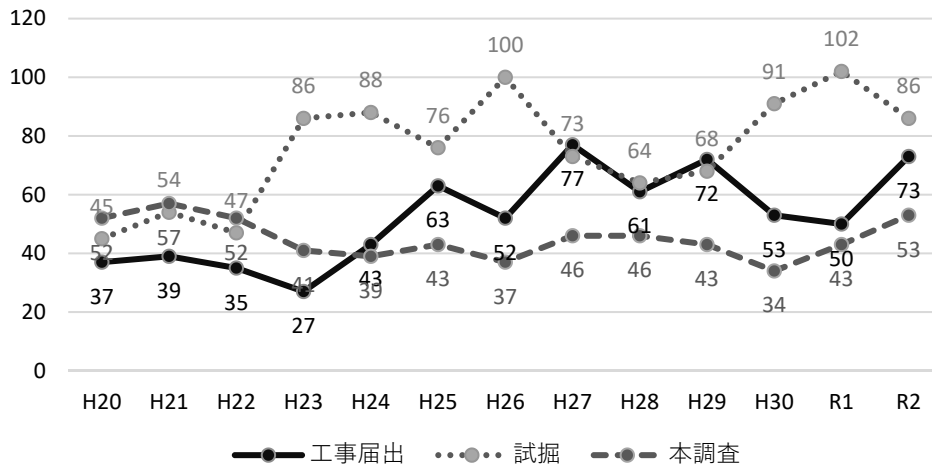
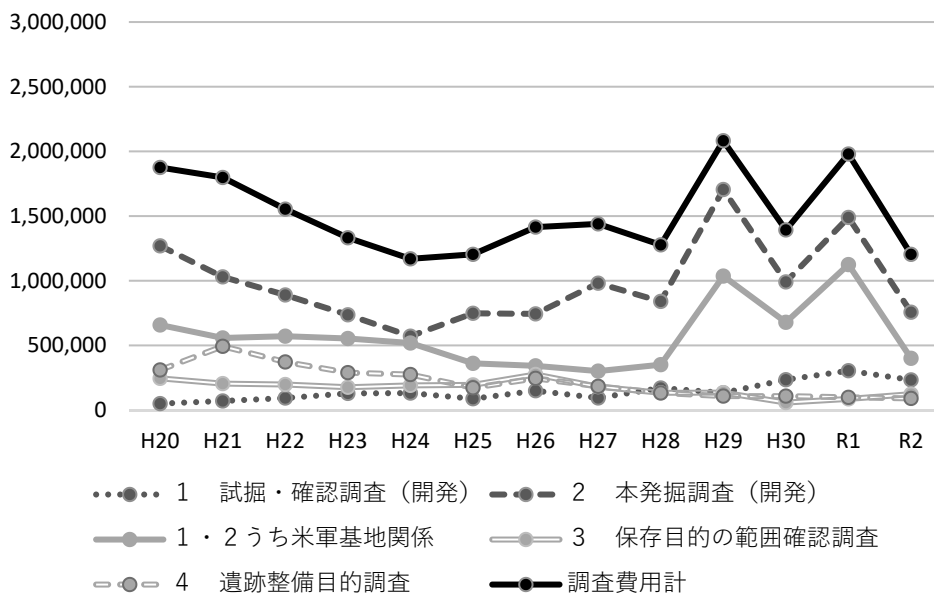


図3 沖縄県県内の発掘調査経費の推移（単位：千円）



(1) 開発協議（文化財の有無及び取扱いの照会・協議）

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

項目 No.	所在地	開発等の種別	照会者	回答内容（所在文化財）
1	八重瀬町字新城 イマー原1873番3 他7筆	社屋兼倉庫の建設	沖縄県企画部県土・ 跡地利用対策課長	包蔵地外
2	名護市字中山モ クザ山825番26	資材置場	沖縄県企画部県土・ 跡地利用対策課長	包蔵地外
3	うるま市石川楚 南東原498番6及 び498番1の一部 並びに字宇栄野 比安城原1211番 18	流動化改良土製造施設の建 設	沖縄県企画部県土・ 跡地利用対策課長	包蔵地外
4	今帰仁村字平敷 山出原282番地 外3筆	貸店舗の建設	沖縄県企画部県土・ 跡地利用対策課長	包蔵地外
5	宮古島市上野字 宮国フカエ357番 19 外53筆	コンベンションセンター (展示ホール) の建設	沖縄県企画部県土・ 跡地利用対策課長	包蔵地外
6	宮古島市上野字 宮国アナガア738 番2 外43筆	集会場、店舗、ホテルの建 設	沖縄県企画部県土・ 跡地利用対策課長	包蔵地外
7	宮古島市上野字 宮国アナガア788 番1 外31筆	劇場、ホテルの建設	沖縄県企画部県土・ 跡地利用対策課長	包蔵地外
8	宮古島市平良字 島尻宮ノ原1371 番1 外61筆	リゾートホテルの建設	沖縄県企画部県土・ 跡地利用対策課長	埋蔵文化財包蔵地が所在する可能性あり。
9	嘉陽海域及び豊 原海域	海草藻場の生育範囲拡大に 係る海草類の生育環境確認 調査	沖縄県土木建築部長	包蔵地外
10	名護市字為又為 又原1219番386、 1219番23	建設用重機の駐機場及び機 材置場のための土地造成工 事	沖縄県企画部県土・ 跡地利用対策課長	包蔵地外
11	金武町字屋嘉伊 地田原1553番、 1555番の各一部	こども園の建設	沖縄県企画部県土・ 跡地利用対策課長	包蔵地外

(2) 文化財保護法第93条及び94条に係る発掘届・通知一覧

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

項目 No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
1	嘉手納仲原遺跡	嘉手納町	アメリカ軍第718施設 中隊環境保全課長	その他建物 (既存施設の改修)	発掘調査
2	山下町大通りの壕	那覇市	那覇市長	その他開発 (地下壕対策)	工事立会
3	屋部川口古瓦出土地	名護市	名護市長	その他建物 (公共施設)	工事立会
4	佐敷島宜原遺物散布地	南城市	個人	住宅	慎重工事

項目 No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
5	根差部グスクヌチヂ遺跡、根差部後原古墓群	豊見城市	有限会社ゴールデンホーム代表取締役	宅地造成	工事立会
6	西江上遺跡	伊江村	個人	住宅	慎重工事
7	大兼久遺跡	大宜味村	大宜味村長	その他開発(駐車場)	工事立会
8	思原遺跡	名護市	沖縄防衛局長	その他開発(在沖米軍施設)	工事立会
9	識名原遺跡	那覇市	合同会社すまいる代表社員	その他建物(寄宿舎)	発掘調査
10	垣花集落内遺物散布地	南城市	個人	住宅	慎重工事
11	宇栄原1丁目の壕	那覇市	那覇市長	その他建物(集会所)	発掘調査
12	仲間遺跡	浦添市	個人	住宅	発掘調査
13	壺屋古窯群	那覇市	那覇市長	その他開発(擁壁工事)	工事立会
14	太田志喜根貝塚	恩納村	個人	住宅	工事立会
15	嘉陽上グスク	名護市	名護市長	道路	発掘調査
16	嘉数前原遺物散布地	豊見城市	豊見城市長	その他開発(公民館建設)	工事立会
17	安幸地原貝塚	恩納村	北部国道事務所長	道路・電気	工事立会
18	採海古墓群	石垣市	イー・トップ株式会社代表取締役	観光開発	発掘調査
19	喜友名貝塚・普天間旧道跡	宜野湾市	JFEエンジニアリング株式会社	ガス	工事立会
20	美留貝塚	恩納村	個人	住宅	慎重工事
21	根路銘遺跡	大宜味村	個人	住宅	慎重工事
22	宜野湾古集落、赤道渡呂寒原古墓群、神山古集落	宜野湾市	沖縄防衛局長	その他開発(駐車場補修・整備)	工事立会
23	仲間遺跡内のトーチカ、交通壕、十字壕、埋没壕	糸満市	沖縄蟻の会	その他開発(遺骨収集)	工事立会
24	港川遺跡	八重瀬町	八重瀬町長	公園造成	工事立会
25	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	住宅	慎重工事
26	ヤニバマ遺物散布地	名護市	沖縄防衛局長	河川	発掘調査
27	美謝川集落関連遺跡群	名護市	沖縄防衛局長	河川	工事立会
28	名嘉地古島遺跡、名嘉地後原古墓群	豊見城市	株式会社日本フェニックス代表取締役	その他建物(葬祭施設)	慎重工事
29	越地貝塚	今帰仁村	株式会社HM	宅地造成	慎重工事
30	仲村渠殿遺跡	南城市	個人	住宅	慎重工事
31	億首川流域古墓群	金武町	北部ダム統合管理事務所長	ダム・その他開発(法面対策工事)	慎重工事
32	首里旧金城村跡	那覇市	大和ハウス工業株式会社沖縄支店長	宅地造成	工事立会
33	根石グスク周辺遺跡	南城市	沖縄気象台長	その他建物(気象レーダー観測所)	発掘調査

項目 No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
34	友利元島遺跡	宮古島市	有限会社アミココーポレーション代表取締役	その他建物 (ホテル)	発掘調査
35	我那覇後原遺物散布地	豊見城市	株式会社アーネストワン代表取締役	住宅	工事立会
36	伊良波先祖原遺物散布地C地点	豊見城市	個人	住宅	工事立会
37	澤川原遺物散布地	南城市	個人	住宅	慎重工事
38	平敷屋トウバル遺跡	うるま市	沖縄防衛局長	その他建物 (消防署)	発掘調査
39	鏡水土砂場原C遺跡	那覇市	陸上自衛隊那覇駐屯地業務隊長	その他建物 (仮設倉庫)	工事立会
40	墨屋原遺跡	名護市	旭産業株式会社代表取締役	その他建物 (外部階段)	工事立会
41	宇茂佐古島遺跡	名護市	直美&康郎コーポレーション株式会社代表取締役	その他建物 (保育園)	慎重工事
42	小谷原遺物散布地	南城市	個人	住宅	慎重工事
43	首里旧金城村跡	那覇市	那覇市長	道路	発掘調査
44	友利元島遺跡	宮古島市	株式会社ユニマツトプレシヤス代表取締役	その他建物 (宿泊施設等)	発掘調査
45	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	住宅	慎重工事
46	識名原遺跡	那覇市	那覇市長	道路	工事立会
47	鏡水水溜屋原B遺跡	那覇市	南部国道事務所長	道路	発掘調査
48	宮城遺物散布地	大宜味村	日本郵便株式会社名護郵便局長	その他開発(構造物撤去・新設工事)	工事立会
49	名嘉地原遺物散布地	豊見城市	株式会社ガーデン代表取締役	住宅	工事立会
50	澤川原遺物散布地	南城市	個人	住宅・その他建物 (店舗)	慎重工事
51	億首川流域古墓群、宇武場原遺物散布地	金武町	北部ダム統合管理事務所長	ダム・その他開発 (法面対策工事)	工事立会
52	瑞慶覧東後原近世墓群D地区	北中城村	沖縄防衛局長	学校	発掘調査
53	伊良波先祖原遺物散布地C地点	豊見城市	個人	その他建物 (共同住宅)	工事立会
54	名城遺物散布地	糸満市	個人	住宅	慎重工事
55	前田・経塚近世墓群(首里大名地区)	那覇市	那覇市長	その他建物 (市営住宅建設)	工事立会
56	ナングシク遺跡群(名護グスク)	名護市	名護市長	その他開発 (植樹等)	工事立会
57	辺名地遺跡	本部町	個人	住宅	慎重工事
58	真栄田古島遺跡	恩納村	個人	住宅	慎重工事
59	上田古島遺跡	豊見城市	沖縄県南部土木事務所長	道路	慎重工事
60	カクリグシク(シナハウガン)	読谷村	個人	その他開発 (土地造成)	慎重工事

項目 No.	遺 跡 名	所 在 地	工 事 主 体	工 事 目 的	回 答 内 容
61	名城遺物散布地	糸満市	個人	住宅	慎重工事
62	住屋遺跡	宮古島市	日本郵便局株式会社 宮古郵便局長	その他建物 (郵便ポスト建替)	慎重工事
63	大堂原西遺跡	名護市	個人	住宅	工事立会
64	長浜元島遺跡	宮古島市	有限会社やすらぎ	その他建物 (福祉施設建築)	発掘調査
65	ヤニバマ遺物散布地	名護市	沖縄防衛局長	道路	工事立会
66	西江上遺跡	伊江村	伊江村長	住宅 (教員宿舎)	工事立会
67	大嶺村跡	那覇市	国土交通省大阪航空 局局長	空港	慎重工事
68	西村跡	那覇市	個人	宅地造成	発掘調査
69	デミグラグスク	八重瀬町	個人	住宅	慎重工事
70	首里赤平村跡	那覇市	個人	その他開発 (共同住宅)	工事立会
71	東辺名グスク (旧野戦病院壕)	糸満市	NPO法人沖縄戦没者遺 骨協議会理事長	その他開発 (遺骨収容)	工事立会
72	荷川取海岸秘匿壕群・ウブ ドゥマーリヤ特攻艇秘匿壕群	宮古島市	宮古島市長	その他建物 (道路・ 港湾関連用地造成)	発掘調査
73	照屋グスク	糸満市	個人	宅地造成	工事立会
74	長堂原遺物散布地	豊見城市	沖縄県知事	その他開発 (磁気探査)	工事立会
75	大工廻八所集落跡A地点、B地点	沖縄市	沖縄防衛局長	その他開発 (米軍施設移設)	発掘調査
76	大嶺村跡・小禄海軍飛行場跡	那覇市	沖縄総合事務局那覇 港湾・空港整備事務 所長	その他開発 (ヤード整備)	工事立会
77	大嶺御嶽遺跡	宮古島市	宮古島市農林水産部 農村整備課長	土地区画整理	慎重工事
78	ヤニバマ遺物散布地	名護市	沖縄防衛局長	河川	工事立会
79	アパヌク貝塚	名護市	個人	住宅	慎重工事
80	宇茂佐古島遺跡	名護市	株式会社東栄住宅那 覇営業所長	住宅	慎重工事
81	安和貝塚	名護市	名護市安和区長	その他開発 (標柱設置)	工事立会
82	国場前原遺跡	那覇市	有限会社コーポレー ションこくば代表取 締役	その他建物 (複合ビル)	発掘調査
83	安波茶部遺物散布地	名護市	個人	住宅	工事立会
84	渡口・和仁屋近世墓群	北中城村	JFEエンジニアリング 株式会社	ガス	工事立会
85	安和貝塚	名護市	個人	住宅	慎重工事
86	西村跡	那覇市	三菱地所株式会社ホ テル事業部長	その他建物 (ホテル)	発掘調査
87	瀬長古島遺跡	豊見城市	東急株式会社ホスタ ピリティ事業部長	その他開発 (駐車場)	慎重工事
88	豊見親城遺跡	竹富町	竹富町長職務代理人 竹富町副町長	水道	工事立会

項目 No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
89	大宜味遺物散布地	大宜味村	日本郵便株式会社名護郵便局長	その他開発（構造物撤去・新設工事）	慎重工事
90	安室遺物散布地No. 2	西原町	株式会社正内装代表取締役	その他開発（駐車場整備）	工事立会
91	美謝川集落関連遺跡群	名護市	沖縄防衛局長	その他開発（ボーリング調査）	慎重工事
92	上原部落内遺跡	竹富町	日本郵便株式会社八重山郵便局長	その他建物（郵便ポスト建替）	慎重工事
93	新城A遺跡	八重瀬町	株式会社アーバンライク代表取締役	住宅	工事立会

(3) 文化財保護法第96条及び97条に係る遺跡発見届・通知一覧

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

項目 No.	発見地	遺跡名	届出・通知者	原因	措置状況
1	沖縄県島尻郡八重瀬町字新城ガルマンドー原1768番地1	ガルマンドー原貝塚	株式会社宮昌工業代表取締役	土木工事	慎重工事
2	沖縄県宮古島市城辺長間土川1891-20、1891-19、比嘉仲尾嶺1521-9、1521-19	長間土川の岩陰墓	宮古農林水産振興センター所長	土地改良	発掘調査
3	沖縄県中頭郡西原町字我謝前川原314-1	我謝前川原古墓群	ネクスト・ゴルフ・マネジメント株式会社沖縄カンントリークラブ支配人	土木工事	慎重工事
4	沖縄県南城市大里字高平前原125番5	高平前原塚	沖縄県南部土木事務所長	土木工事	発掘調査
5	沖縄県那覇市久米1丁目3番2号	久米村跡	那覇市長	土木工事	発掘調査

(4) 文化財保護法第102条に係る埋蔵物の鑑査及び文化財認定一覧

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

項目 No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
1	大兼久遺跡	R3.2.26	大宜味村教育委員会教育長	大宜味村長	土器、陶磁器、赤瓦、貝類 等々一式 {1/2箱}	大宜味村教育委員会
2	安仁屋・新城インジャー流域古墓群	R3.1.29	宜野湾市教育委員会教育長	宜野湾市長	厨子、沖縄産陶器、銭貨、簪等 {12箱}	宜野湾市教育委員会
3	山田城跡	R3.3.20	恩納村教育委員会教育長	恩納村長	土器、陶磁器類、鉄製品、自然遺物（貝類など） {3箱}	恩納村教育委員会
4	普天間古集落	R3.3.10	宜野湾市教育委員会教育長	宜野湾市長	青磁、瓦、沖縄産陶磁器、本土産陶磁器など {約1箱}	宜野湾市教育委員会
5	(場所) 沖縄県宜野湾市大山3丁目1455番地	R3.3.3	宜野湾市教育委員会教育長	個人	沖縄産陶器 {1点}	宜野湾市教育委員会
6	浦添城跡	R3.3.22	浦添市教育委員会教育長	沖縄県知事、浦添市長	陶磁器、瓦、鉄釘、土器、貝類、動物遺体等 {5箱}	浦添市教育委員会
7	勝連城跡	R3.3.31	うるま市教育委員会教育長	うるま市長	陶磁器（中国産陶磁器、沖縄産陶磁器ほか）、土器、石器、自然遺物（貝殻、獣魚骨等） {約5箱}	うるま市教育委員会

項目 No.	遺 跡 名	発見年月日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
8	名城遺跡	R3. 3. 31	糸満市教育委員会教育長	沖縄県知事	土器、石器、陶磁器、自然遺物等 {61箱}	糸満市教育委員会
9	豊見城グスク	R3. 1. 31	豊見城市教育委員会教育長	豊見城市長	土器片、陶磁器片、石器片、獣骨、骨製品、金属製品等 {50箱}	豊見城市教育委員会
10	豊見城グスク	R2. 3. 23	豊見城市教育委員会教育長	豊見城市長	土器片、陶磁器片、石器片、獣骨等 {4箱}	豊見城市教育委員会
11	平得宇部御嶽遺跡	R3. 3. 31	石垣市教育委員会教育長	石垣市長	土器片、陶磁器片、貝製品、骨製品、石器、自然遺物ほか {約10箱}	石垣市教育委員会
12	首里高等学校内中城御殿跡、大美御殿跡、首里真和志村跡	R3. 6. 11	沖縄県教育委員会教育長	沖縄県知事	土器、陶磁器、獣魚骨等 {71箱}	沖縄県立埋蔵文化財センター
13	嘉陽海岸、嘉陽海岸遺物散布地	R元. 5. 11	名護市教育委員会教育長	嘉陽区	陶磁器、瓦 {219点}	名護市教育委員会
14	(場所) 沖縄県島尻郡八重瀬町字仲座登口原648番地1	R3. 5. 19	八重瀬町教育委員会教育長	個人	輸入陶磁器、グスク土器、沖縄産陶器類、石器、動物遺体、貝類遺体、ビン類 (近代) {約1箱}	八重瀬町教育委員会
15	仲間遺跡	R3. 8. 25	浦添市教育委員会教育長	個人	陶磁器、瓦、銭貨、鉄釘、動物遺体等 {6箱}	浦添市教育委員会
16	金武鍾乳洞遺跡	R3. 8. 16	沖縄国際大学	金武区長	人工遺物 (土器、カムイヤキ、白磁、ガラス玉など)、自然遺物 (貝類遺体、脊椎動物遺体、植物遺体) {3箱}	沖縄国際大学
17	豊見親城遺跡	R3. 9. 28	竹富町教育委員会教育長	竹富町長	陶器片 {1点}、土器片 {6点}	竹富町教育委員会
18	南風田原遺跡	R3. 9. 30	竹富町教育委員会教育長	竹富町長、個人	土器、陶磁器、貝、すり鉢、石、薬夾、瓦、獣骨 {約1箱}	竹富町教育委員会
19	首里高等学校内中城御殿跡	R3. 10. 26	沖縄県教育委員会教育長	沖縄県知事	土器、陶磁器、獣魚骨等 {20箱}	沖縄県立埋蔵文化財センター
20	ヤニバマ遺物散布地	R3. 10. 18	名護市教育委員会教育長	沖縄防衛局長	磁器 {1点}	名護市教育委員会
21	野国後原西遺跡・兼久集落跡	R2. 10. 31	嘉手納町教育委員会教育長	沖縄防衛局長	陶器片、瓦 {5箱}	嘉手納町教育委員会
22	鏡水原遺跡	R4. 1. 28	沖縄県教育委員会教育長	南部国道事務所長	陶磁器、瓦、土器、石器等 {5箱}	沖縄県立埋蔵文化財センター
23	兼久中原遺跡・野国作之上原遺跡	R元. 10. 10	嘉手納町教育委員会教育長	沖縄防衛局長	土器片、石器片、陶磁器片、瓦、厨子甕、サンプル土 {275箱}	嘉手納町教育委員会
24	安和与那川原遺跡	R4. 1. 13	名護市教育委員会教育長	沖縄県知事	土器、石器、貝等 {12箱}	名護市教育委員会
25	瑞慶覧東後原近世墓群	R3. 4. 15	北中城村教育委員会教育長	沖縄防衛局長	厨子甕 {36点}、陶磁器、石器ほか {29箱}	北中城村教育委員会
26	(場所) 沖縄県中頭郡北中城村字瑞慶覧地内	R3. 4. 15	北中城村教育委員会教育長	沖縄防衛局長	陶磁器 {8点}	北中城村教育委員会

項目 No.	遺 跡 名	発見年月日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
27	喜友名・新城の宿道	R4. 2. 1	宜野湾市教育委員会教育長	宜野湾市長	青磁、白磁、瓦、陶磁器、金属製品、獣骨、貝等 {約1箱}	宜野湾市教育委員会
28	山田城跡	S63. 3. 31	恩納村教育委員会教育長	個人	土器、陶磁器類、鉄製品、自然遺物(貝類など) {45箱}	恩納村教育委員会
29	喜友名下原第一遺跡	R4. 2. 7	宜野湾市教育委員会教育長	宜野湾市長	グスク土器、カムイヤキ、白磁、青磁、染付、沖縄産陶磁器、本土産磁器、石器等 {4箱}	宜野湾市教育委員会
30	喜友名下原第二遺跡	R4. 2. 7	宜野湾市教育委員会教育長	宜野湾市長	先史土器、グスク土器、カムイヤキ、白磁、青磁、染付、沖縄産陶磁器、本土産磁器、石器・石材、人骨、獣骨等 {14箱}	宜野湾市教育委員会
31	楚辺親見原遺跡A、楚辺徳地原遺跡A、楚辺徳地原遺跡E、楚辺徳地原遺跡G、渡具知後原遺跡A、大湾親見原遺跡A、大湾糸蒲原遺跡A、古堅通地原遺跡A	R4. 3. 4	沖縄県教育委員会教育長	沖縄防衛局長	土器、石器、陶磁器、獣魚骨等 {48箱}	沖縄県立埋蔵文化財センター
32	伊佐上原遺跡群A地点、伊佐上原第一古墓群、伊佐上原南遺跡	R4. 3. 15	沖縄県教育委員会教育長	沖縄防衛局長	土器、石器、陶磁器等 {6箱}	沖縄県立埋蔵文化財センター
33	喜友名グスク	R4. 1. 28	宜野湾市教育委員会教育長	宜野湾市長	青磁{1点}	宜野湾市教育委員会
34	根石グスク周辺遺跡	R3. 12. 24	南城市教育委員会教育長	国土交通省 国土交通大臣	土器 {1点}	南城市教育委員会
35	大兼久遺跡	R4. 1. 30	大宜味村教育委員会教育長	大宜味村長	土器、青磁、陶器、赤瓦、貝類、獣骨類、魚骨類 等々一式 {約9箱}	大宜味村教育委員会
36	首里山川町の石畳道	R3. 3. 26	那覇市教育委員会教育長	那覇市長	沖縄産陶器、本土産磁器 {2箱}	那覇市教育委員会
37	西村跡	R3. 6. 11	那覇市教育委員会教育長	三菱地所株式会社	中国産陶磁器、本土産陶磁器、沖縄産陶器、瓦、獣骨等 {4箱}	那覇市教育委員会
38	小禄海軍飛行場跡	R3. 9. 27	那覇市教育委員会教育長	大阪航空局 那覇空港事務所長	陶磁器片、金属片、サンプル土壌等 {10箱}	那覇市教育委員会
39	伊江御殿別邸庭園	R3. 11. 17	那覇市教育委員会教育長	那覇市長	沖縄産陶器、本土産陶磁器等 {9箱}	那覇市教育委員会
40	国場前原遺跡	R3. 10. 19	那覇市教育委員会教育長	国場自治会長	グスク土器、瓦等 {1箱}	那覇市教育委員会
41	首里赤平村跡	R3. 11. 22	那覇市教育委員会教育長	個人	青磁、青花、無釉陶器、獣骨、瓦等 {1箱}	那覇市教育委員会
42	首里旧金城村跡	R3. 12. 22	那覇市教育委員会教育長	那覇市長ほか1名	中国産磁器、本土産陶磁器、沖縄産陶器等 {6箱}	那覇市教育委員会
43	識名園内遺跡	R3. 11. 26	那覇市教育委員会教育長	個人	土器、石器片 {1箱}	那覇市教育委員会
44	伊江殿内庭園	R3. 11. 15	那覇市教育委員会教育長	那覇市長	本土産陶磁器、瓦 {3箱}	那覇市教育委員会

項目 No.	遺 跡 名	発見年月日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
45	与儀橋(新栄橋)	R4. 2. 16	那覇市教育委員会教育長	沖縄県南部 土木事務所	石板 {1箱}	那覇市教育委員会
46	御物城	R3. 2. 24	那覇市教育委員会教育長	那覇市長	中国産陶磁器等 {1箱}	那覇市教育委員会
47	ミノシン毛古墓群	R3. 1. 29	那覇市教育委員会教育長	南部国道事務所	沖縄産陶器、厨子甕破片、骨等 {4箱}、厨子甕の身 {14点}	那覇市教育委員会
48	らくだ山戦争遺跡群A地点	R3. 1. 29	那覇市教育委員会教育長	南部国道事務所	沖縄産陶器、日本産磁器、ガラス瓶等 {4箱}	那覇市教育委員会
49	らくだ山戦争遺跡群B遺跡	R3. 1. 29	那覇市教育委員会教育長	南部国道事務所	日本産磁器、厨子甕破片等 {3箱}	那覇市教育委員会
50	鏡水水溜屋原B遺跡	R4. 1. 13	那覇市教育委員会教育長	南部国道事務所	沖縄産陶器、土器、石器等 {2箱}	那覇市教育委員会
51	西村跡	R4. 1. 28	那覇市教育委員会教育長	個人	沖縄産陶器、日本産磁器、中国産陶磁器、瓦、獣骨、古銭等 {4箱}	那覇市教育委員会
52	久米村跡	R4. 3. 22	那覇市教育委員会教育長	那覇市長	金属製品 {1箱}	那覇市教育委員会

(5) 文化財保護法第107条に係る出土文化財譲与一覧

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

項目 No.	遺 跡 名	発見年月日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
1	今帰仁城跡附シイナ城跡	H23. 4. 5～ H26. 3. 31	今帰仁村長	今帰仁村長	鉄製品(1箱)	今帰仁村教育委員会

(6) 文化財保護法第92条第1項に係る発掘調査の届出一覧

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

項目 No.	遺 跡 名	所在市町村	調査主体者・担当者	調査目的	遺跡の主な 時期・性格
1	金武鍾乳洞遺跡	金武町	沖縄国際大学総合文化学部 社会文化学科 考古学専任 教員 新里 貴之	学術研究	グスク、散布地
2	(場所)久米島町 字兼城金城7-1	久米島町	国立大学法人琉球大学国際 地域創造学部 講師 主税 英徳	学術研究	不明、不明

(7) 文化財保護法第99条第1項に基づく発掘調査の報告一覧

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

項目 No.	遺 跡 名	所在市町村	調査主体	調査担当者	調査目的	遺跡の主な 時期・性格
1	首里高等学校内 中城御殿跡、大美御殿跡、首里 真和志村跡	那覇市	沖縄県立埋蔵 文化財セン ター	玉城綾・ 奥平大貴	開発事業(学校)	グスク・近世・ 近代、グスク等

項目 No.	遺 跡 名	所在市町村	調 査 主 体	調査担当者	調 査 目 的	遺跡の主な 時期・性格
2	平得宇部御嶽遺跡	石垣市	石垣市教育委員会	金城由美	開発事業（道路）	グスク、集落・御嶽跡
3	仲間遺跡	浦添市	浦添市教育委員会	佐伯信之	開発事業（住宅）	グスク・近世、集落跡
4	宇栄原1丁目の壕	那覇市	那覇市文化財課	山道峻	その他建物（集会所）	地下壕、近代
5	南風田原遺跡	竹富町	竹富町教育委員会	根原裕美子	開発事業（農業関連）	無土器期、散布地
6	識名原遺跡	那覇市	那覇市文化財課	天久瑞香・樋口麻子	その他建物（寄宿舎建築）	グスク・近世、集落跡
7	(場所)金武町字金武4239-1番地、239-31番地	金武町	金武町教育委員会	安座間充	開発事業（道路）	近世、墓
8	喜友名下原第一遺跡、喜友名下原第二遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	仲村毅	その他開発（不発弾探査）	縄文・グスク・近世・近代、集落跡・貝塚
9	安和与那川原遺跡	名護市	名護市教育委員会	真栄田義人	開発事業（河川）	縄文、散布地
10	小禄海軍飛行場跡	那覇市	那覇市文化財課	當銘由嗣	その他建物（庁舎）	近代、飛行場跡
11	大兼久遺跡	大宜味村	大宜味村教育委員会	寄合龍己	その他建物（役場庁舎）	弥生～平安並行、散布地
12	首里高等学校内中城御殿跡	那覇市	沖縄県立埋蔵文化財センター	玉城綾・奥平大貴	開発事業（学校）	グスク・近世・近代、グスク等
13	楚辺親見原遺跡A、楚辺徳地原遺跡A・E・G、渡具知後原遺跡A、大湾親見原遺跡A、大湾糸蒲原遺跡A、古堅通地原遺跡A	読谷村	沖縄県立埋蔵文化財センター	宮城淳一、具志堅清大、太田樹也	その他開発（米軍施設）	縄文・グスク・近世・近代、集落跡
14	伊佐上原遺跡群A地点、伊佐上原南遺跡、伊佐上原第一古墓群	宜野湾市	沖縄県立埋蔵文化財センター	知念隆博・羽方誠	保存目的の範囲内容確認	縄文・グスク・近世・近代、集落跡・墓
15	下地原洞穴遺跡	久米島町	沖縄県立博物館・美術館	澤浦亮平	学術研究	旧石器・縄文・グスク、散布地
16	喜舎場西原近世墓群、安谷屋儀間原近世墓群、安谷屋古馬上原近世墓群	北中城村	北中城村教育委員会	小橋川剛	その他開発（米軍施設）	近世、墓
17	首里旧金城村跡	那覇市	那覇市文化財課	天久瑞香	開発事業（道路）	近世・近代、集落跡
18	ヤニバマ遺物散布地	名護市	名護市教育委員会	宮城智浩	開発事業（道路）	縄文・弥生～平安並行、散布地
19	鏡水水溜屋原B遺跡	那覇市	那覇市文化財課	山道峻	開発事業（道路）	縄文、集落跡
20	サキタリ洞遺跡	南城市	沖縄県立博物館・美術館	澤浦亮平	学術研究	旧石器・縄文・グスク、散布地
21	鏡水原遺跡	那覇市	沖縄県立埋蔵文化財センター	田村薫・城間宏次郎	開発事業（道路）	縄文・グスク・近世・近代、散布地・生産遺跡
22	嘉手納仲原遺跡	嘉手納町	嘉手納町教育委員会	宮里知恵・我如古千里	その他建物（既存施設の改修）	縄文・グスク、集落跡
23	瑞慶覧東後原近世墓群D地区	北中城村	北中城村教育委員会	小橋川剛	その他開発（米軍施設）	近世、墓

項目 No.	遺 跡 名	所在市町村	調 査 主 体	調査担当者	調 査 目 的	遺跡の主な 時期・性格
24	大浦崎収容所跡	名護市	名護市教育委員会	宮城智浩	開発事業（道路）	近現代、戦争遺跡
25	与儀橋（新栄橋）	那覇市	那覇市文化財課	樋口麻子	開発事業（道路）	近代、交通遺跡
26	西村跡	那覇市	那覇市文化財課	山道峻	開発事業（住宅）	グスク・近世・近代、集落跡
27	真栄里兼久原遺跡	糸満市	糸満市教育委員会	外間裕一	開発事業（区画整理）	近世、生産遺跡
28	嘉陽上グスク	名護市	名護市教育委員会	横手伸太郎	開発事業（道路）	グスク、グスク等
29	安和貝塚	名護市	名護市教育委員会	真栄田義人	開発事業（住宅）	弥生～平安並行・グスク、貝塚
30	墨屋原浜崎遺跡	名護市	名護市教育委員会	宮城智浩	開発事業（宅地造成）	縄文・弥生～平安並行、集落跡
31	根路銘城跡	大宜味村	大宜味村教育委員会	寄合龍己	保存目的の範囲内容確認	グスク、グスク等
32	下地原洞穴遺跡	久米島町	沖縄県立博物館・美術館	澤浦亮平	学術研究	旧石器・縄文・グスク、散布地
33	久米村跡	那覇市	那覇市文化財課	當銘由嗣・山道峻	開発事業（学校）	近世・近代、集落跡

（８）独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 文化財担当者専門研修参加者一覧

（令和３年４月１日～令和４年３月３１日）

項目 No.	研 修 名	期 間	参 加 者	所 属
1	文化財担当者専門研修 「報告書編集基礎課程」	令和３年12月13日～ 12月17日	江上 輝	那覇市
2	文化財担当者専門研修 「報告書編集基礎課程」	令和３年12月13日～ 12月17日	比嘉 紗恵里	南城市教育委員会
3	文化財担当者専門研修 「報告書デジタル作成課程」	令和３年12月20日～ 12月24日	比嘉 紗恵里	南城市教育委員会

（９）鉱業権法第２４条の規定に基づく協議

（令和３年４月１日～令和４年３月３１日）

項目 No.	出 願 地	出 願 番 号	鉱種名	出願種類	回 答 内 容	
					所在埋蔵文化財	所在天然記念物等
1	八重瀬町	3 沖経出採般第1号	石灰岩	採掘	周知の埋蔵文化財	地域を定めず指定された天然記念物
2	糸満市	3 沖経出採般第2号	石灰岩	採掘	周知の埋蔵文化財	地域を定めず指定された天然記念物
3	宮古島市	2 沖経出採般第3号	石灰岩	採掘	包蔵地外	地域を定めず指定された天然記念物

6. 円覚寺跡保存整備事業（文化庁国庫補助事業）

（1）事業の概要

円覚寺は、尚真王が父尚円王の御霊を祀るために1492年に建立した臨済宗の総本山であり、第二尚氏王代の菩提寺でもあった。

琉球第一の巨刹で、総門をはじめ、三門、放生池、仏殿、龍淵殿、鐘楼、獅子窟等が昭和8年1月23日に国宝に指定されたが、去る沖縄戦において破壊され、国宝指定は解除された。戦後、総門や放生橋等の一部が復元整備され、公開されているが、それ以外の建造物群等は旧琉球大学運動場整備に伴い、客土による遺構の保護が行われていた。

本史跡は、県営公園の範囲に含まれており、隣接する首里城跡や円覚寺総門、龍潭、円鑑池等の史跡の整備及び公園整備事業（国、県土木建築部）との整合性を図り、その保全と活用・公開等を図るため、国の補助を受けて保存整備事業を実施している。

当該事業は、平成9年度から平成13年度までの5ヶ年計画で整備に先駆けて遺構調査が実施され、調査並びに聞き取り調査の成果に基づいて、平成14年度より境内を取り巻く石牆（土留め石積み）の復元整備を実施し、平成26年度から三門復元に取組んでいる。平成28年度から令和元年度までに三門の復元に伴う実施設計を完成させた。令和2年度は、三門の石階段の修復工や遺構保護工事、伐採工、工事用道路の工事を実施した。

（2）令和3年度の整備事業の内容

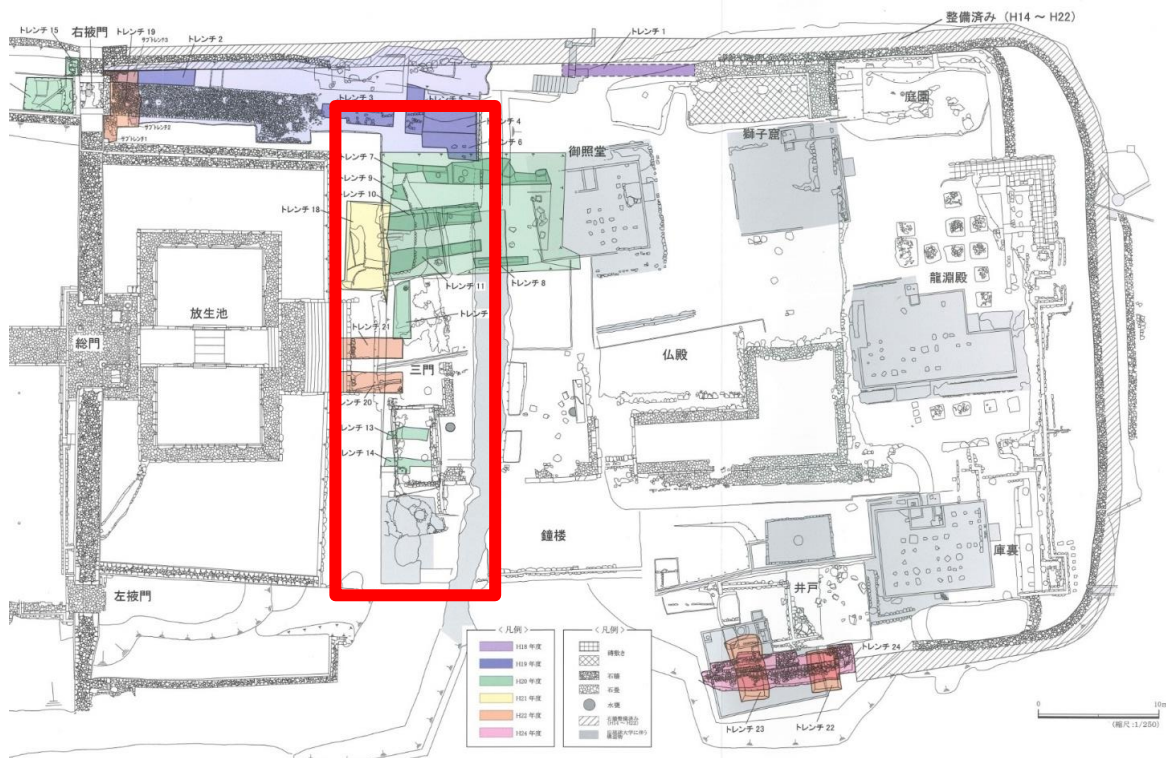
令和3年度は、これまでに整備委員会において三門の設計を実施しており、その成果を基に三門の復元に際し、三門の礎盤や山廊の石列の位置を確認しながら、三門や左右の山廊の位置出しを行った。その後、三門復元整備に伴うコンクリート基礎、礎盤となる石材の調達や木造の建造物である三門の復元に際し、木材の調達を行った。

（3）円覚寺跡保存整備事業の事業費並びに事業箇所の変遷

年度	事業箇所等	事業費	国費	工事請負費	委託料（設計・監理）
平成14年度	・石牆（土留め石積み） 修復工事（97.1㎡） ・工事用道路の設置	35,000	27,000	工事経費 28,822.5	委託料 ・設計 5,617.40 ・監理 4,649.40 968
平成15年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（48.1㎡）	15,000	12,000	工事経費 9,681	委託料 ・設計 4,935 ・監理 3,360 1,575
平成16年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（28.1㎡） ・工事用道路の設置 ・既存石積みの解体	15,000	12,000	工事経費 8,999.55	委託料 ・設計 5,355 ・監理 3,360 ・測量 1,291.50 703.5
平成17年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（43.0㎡）	15,000	12,000	工事経費 8,999.55	委託料 ・設計 5,281.70 ・監理 2,324.70 ・測量 2,259.60 697.4
平成18年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（42.0㎡）	13,500	10,800	工事経費 8,999.55	委託料 ・設計 3,525.00 ・監理 1,079.40 2,445.60
平成19年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（30.0㎡）	14,986	11,988	工事経費 7,001.40	委託料 ・設計 3,865.00 ・監理 1,575.00 ・測量 1,786.00 504
平成20年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（29.4㎡）	14,407	11,525	工事経費 6,990.90	委託料 ・設計 3,705.00 ・監理 1,680.00 ・化学測定 1,694.70 330.3
平成21年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（27.0㎡）	14,340	11,472	工事経費 6,770.40	委託料 ・設計 3,771.00 ・監理 1,785.00 ・伐採 1,470.00 516

年度	事業箇所等	事業費	国費	工事請負費	委託料 (設計・監理)
平成22年度	石牆 (土留めの石積み) 修復工事 (44.5㎡)	17,677	14,141	工事経費 9,921.45	委託料 3,768.45 ・設計 1,732.50 ・監理 1,695.75 ・年代測定 340.2
平成23年度	・三門地区地耐力調査	5,000	4,000	工事経費 0	委託料 4,730.668 ・地耐力調査 4,730.668
平成24年度	・石牆 (土留めの石積み) 修復工事 (17.5㎡)	14,442	14,068	工事経費 8,998	委託料 3,769.00 ・設計 1,832.00 ・監理 1,937.00
平成25年度	・石牆 (土留め石積み)	17,587	14,068	工事経費 4,042.5	委託料 2,702.80 ・設計 1,570.80 ・監理 1,132.00
平成26年度	・三門復元基本設計	9,185	0	工事経費 0	委託料 8,640.00 ・設計 8,640.00
平成27年度	・三門復元基本設計	1,056	844	工事経費 0	委託料 712.80 ・測量 712.80
平成28年度	・三門復元実施設計 ・三門遺構調査	18,310	14,646	工事経費 0	委託料 13,359.60 ・実施設計 12,852.00 ・磁気探査 507.60
平成29年度	・三門復元実施設計 ・遺構保護に伴う盛土造成	9,964	7,971	工事経費 0	委託料 5,724.00 ・実施設計 5,724.00
平成30年度	・三門復元実施設計 ・ボーリング調査	13,844	11,075	工事経費 0	委託料 13,165.20 ・実施設計 13,165.20
令和元年度	・三門復元実施設計 ・琉球政府設置標柱撤去	27,938	22,350	工事経費 0	委託料 23,540.00 ・実施設計 23,320.00 ・標柱撤去 220.00
令和2年度	・石階段修復工 ・遺構保護工 (三門・境内)	26,653	21,322	工事経費 21,670	委託料 3,960.00 ・監理 3,960.00
令和3年度	・コンクリート基礎工 ・石材及び木材購入等	106,454	85,163	工事経費 102,703.6	委託料 3,716.299 ・監理 3,716.299

令和3年度 円覚寺跡保存整備事業



 …令和3年度整備箇所(三門復元整備工事箇所)

7. 新たに県の指定になった文化財

(1) 記念物の新規指定

①海底電線陸揚室跡（電信屋）

種 別：沖縄県指定史跡

指 定 地：石垣市宇崎枝屋良部 574-1 番

所 有 者：石垣市

指 定 面 積：736.00 m²

指 摘 基 準：史跡の部 第(3)項（古戦場、戦災跡、戦跡、その他戦争に関する遺跡）
第(7)項（交通・通信施設、治山・治水施設、生産施設その他経済・生産活動に関する遺跡）による。

指定をする理由： 海底電線陸揚室跡は、石垣市屋良部半島南部の海岸に近い標高 10mの平地に位置する近代の遺跡である。地元では「電信屋（デンシンヤ）」とも呼ばれる。

明治期の日本が使用していた唯一の対外通信線はロシア領を經由する大北電信会社の電信線であった。1894（明治 27）年日清戦争が始まると、将来の日露戦争を予見した日本の陸軍省はロシアによる大北通信会社通信線の妨害を恐れ、日本と台湾を結ぶ新たな対外通信線の敷設を計画した。日清戦争後、台湾が日本領となると、陸軍省は台湾の監視と植民地政策の推進を図るための軍事的目的に基づいて、1896（明治 29）年に臨時台湾電信建設部を設立し、鹿児島県肝属郡南大隅町大浜から奄美大島、沖縄本島、石垣島を経て、台湾の基隆までを結ぶ海底電線を敷設した。その際、日本本土と台湾を結ぶ海底線（沖縄本島-石垣島-台湾基隆間 854.9km）の重要な中継基地として、1897（明治 30）年に海底電線陸揚室が建設された。同時に石垣市宇大川 12 番地に八重山通信所が開設され、石垣島から西表島を結ぶ支線の敷設も行われた。翌 1898（明治 31）年八重山通信所と八重山郵便局が合併して八重山郵便電信局となり、海底電線陸揚室も陸軍省から旧逓信省へ移管され、軍事通信の傍ら、一般通信にも利用された。

沖縄戦の際、八重山諸島は米英空母艦載機による空襲を受け、海底電線陸揚室の建物には機銃掃射による無数の弾痕が残っている。なお、宇大川にあった八重山郵便電信局は空襲によって全焼し、電信が途絶えたが、1945（昭和 20）年 5 月までは沖縄本島の牧志郵便電信局との間の交信記録が見られる。戦後、無線電信電話の発達に伴い、海底電線陸揚室としての役目を終えたが、登記上は旧逓信省所有のまま残された。沖縄の復帰に伴う特別措置に関する法律に基づいて日本電信電話公社の所有となり、1985（昭和 60）年日本電信電話公社民営化の際に石垣市に無償譲渡され、翌年市史跡に指定された。

海底電線陸揚室跡の敷地（736 m²）内には、建物や貯水用タンク、石積、井戸などが現存する。建物は面積約 28.9 m²であり、入り口は北東向きで、屋内は試験室と休憩室の二つに仕切られる。試験室にはコンクリート製の通信機器据付台と海底ケーブル引き込み跡、休憩室には和式トイレとコンクリート製流しが確認されるが、繰り返し補修された痕跡が伺われる。建物防護用の石組みは海側に面した南西側と南東側に設けられる。建物は全体に洋式の建築技法が用いられ、壁はレンガを長手だけの段、小口だけの段と一段おきに積むイギリス式の煉瓦造りで、漆喰とセメントで上塗りされる。屋根は鉄筋コンクリート造

りで傾斜した切妻となっており、雨水を貯水するためのタンクが外壁に接して二つ設けられる。

このように、海底電線陸揚室跡は1897(明治30)年に造られた通信施設であり、日清戦争後の台湾経営など近代日本の政策や軍事に関する遺跡である。また、沖縄県が近代の通信情報網に組み込まれた社会情勢を示すとともに、八重山諸島における沖縄戦の痕跡を残すことにおいて、重要な遺跡であると評価される。よって、これを沖縄県史跡に指定し、その保存を図る必要がある。

公 報 登 載：令和3年8月27日付け 沖縄県教育委員会告示第5号



1 建物全景①



2 建物全景②



3 建物内部



4 建物外壁



5 貯水用タンク



6 防護用の石積

8. 指定文化財管理

(1) 国指定文化財管理事業

① 事業目的

文化財保護法の規定に基づき指定された重要文化財及び名勝等の維持管理の万全を期する。

② 事業内容

1) 防災設備保守点検等

指定文化財である建物等に設置した自動火災報知設備、消火設備など及びこれらに準ずる防災の保守点検等

2) 小修理

指定文化財である建物等の維持管理のための小修理

3) 名勝等庭園の荒廃防止及び民家等の環境整備

ア、名勝等に指定された庭園の適正な環境を維持するための除草、剪定、整姿等

イ、指定文化財である民家等の屋敷構え等の適正な環境を維持するために行う除草、剪定等

③ 事業主体

沖縄県

④ 事業の実績

(単位:千円)

文化財の種別	名 称	市 町 村	所 有 者	令和3年度実績額	総事業費	備 考
国指定重要文化財	中村家住宅	北中城村	中村国宏	347	23,666	(昭55～令和2)
	上江洲家住宅	久米島町	上江洲智一	470	21,573	(昭54～令和2)
	石垣氏庭園	石垣市	石垣長敏	128	5,797	(平15～令和2)
	仲村渠樋川	南城市	仲村渠財産区	156	3,199	(平17～令和2)
合 計				1,101	54,235	

9. 文化財愛護事業

(1)「私たちの文化財」図画作品募集

5月中旬～9月下旬の期間募集し、小学校1・2学年52点(20校)、小学校3・4学年89点(24校)、小学校5・6学年205点(33校)、中学校126点(24校)、高等学校123点(12校)、特別支援学校(小学部～高等部)2点(2校)、合計597点(応募校総数81校)の応募があった。

審査会:令和3年10月6日(水)14時～17時 沖縄県立埋蔵文化財センター会議室

審査員(敬称略):崎濱陽子(中城村立中城小学校長)

渡久地伸一(沖縄県立総合教育センター 研究主事)

大城仁美(沖縄県教育庁県立学校教育課 指導主事)

儀間絵美(沖縄県立泡瀬特別支援学校高等部 教諭)

審査結果は下記のとおりで、表彰式及び入賞作品の展示については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、中止となった。そのため、入賞者の表彰は学校での伝達表彰となった。

賞	小学校1・2年の部	小学校3・4年の部	小学校5・6年の部
最優秀賞	新城 莉杏 (カトリック小)	石嶺 真鷲祐 (港川小)	大瀨 咲蘭 (石垣小)
優秀賞	佐次田 晴琉 (松田小) 謝敷 和佳(カトリック小)	東江 辰瑠 (カトリック小) 寄川 柚葉 (カトリック小)	知名 桃花 (美東小) 仲間 ゆうか (カトリック小)
佳作	知念 快音 (城西小) 高宮城 千咲 (港川小) メカラーローズ ヒトミ (カトリック小) 前泊 太亮 (カトリック小)	島袋 みらい (志真志小) 久高 琴音 (カトリック小) 前田 青杜 (カトリック小) 山根 唯乃 (カトリック小)	宮國 光生 (鏡原小) 渡邊 結心 (潮平小) 呉屋 心花 (西原南小) 砂川 優姫 (比屋根小)
入選	9名	8名	9名

賞	中学校の部	高等学校の部
最優秀賞	屋部 夢琳 (琉大附属中)	嘉味田 琉愛 (小禄高)
優秀賞	安慶名 華穂 (桑江中) 小仙 梨陽 (大里中)	名城 咲希 (開邦高) 金城 穂乃花 (小禄高)
佳作	友利 有斗武 (平良中) 當山 浩生 (彩橋中) 仲栄真 良那 (北谷中) 與儀 礼奈 (北谷中)	鯉沼 采音 (開邦高) 中平 幸実 (開邦高) 池原 珠那 (小禄高) 福島 あかり (小禄高)
入選	8名	8名

(2)令和3年度文化財保護強調週間ポスター

11月1日～7日の文化財保護強調週間の啓発のため、令和2年度「私たちの文化財」図画作品募集高等学校の部最優秀作品「中村家住宅」〔玉城 萌さん 小禄高等学校3年(受賞当時)〕を原面にポスターを作成し、市町村教育委員会、学校、公民館、博物館・文化財関係施設などに配付した。

10. みんなの文化財図鑑刊行事業

事業総額：9,289千円（国7,431千円、県1,858千円）

事業種別：沖縄振興特別推進交付金

事業主体：沖縄県

事業期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

事業目的：沖縄の歴史・文化への普及・啓発を行うため、国指定文化財、県指定文化財、市町村指定文化財を紹介する書籍を5冊刊行する。刊行後は、県内の学校及び公立図書館を中心に配布する。

事業概要：沖縄県の文化財を広く普及するために、「有形文化財編」、「無形文化財編・民俗文化財編」、「史跡・名勝編」、「天然記念物編」、「埋蔵文化財編」を作成する。

平成29年度「史跡・名勝編」、平成30年度「埋蔵文化財編」、令和元年度「有形文化財編」、令和2年度「無形文化財編・民俗文化財編」、令和3年度「天然記念物」の刊行を行い、小中学校、高等学校、公立図書館など612ヶ所に配布し、令和3年度で8年間の事業を完了した。

実施体制：文化財課で県内の文化財情報の収集、本文の執筆を行った。写真撮影、編集については業務委託を行った。

